

広域連携推進特別委員会

日時 令和3年9月22日（水）
午前10時
場所 八戸市議会 第一委員会室

- 1 八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について 資料1
- 2 第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン（一次案）について 資料2
- 3 圏域住民アンケート調査（中間報告）について 資料3
- 4 全国における連携中枢都市圏の形成状況について 資料4 資料5

【配付資料】

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 資料1 | 八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について（令和3年8月末現在） |
| 資料2 | 第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン【一次案】 |
| 資料3 | 八戸圏域連携中枢都市圏 圏域住民アンケート 中間報告書 |
| 資料4 | 全国における連携中枢都市圏の形成状況について（令和3年8月末現在） |
| 資料5 | 連携中枢都市圏の取組の推進について |

八戸圏域連携中枢都市圏 連携事業の取組状況について（令和 3 年 8 月末現在） 全 23 施策 80 事業

※表中の成果指標における総計及び累計
【総計】：連携事業化前からの実績の累計
【累計】：連携事業化後の実績の累計

1 圏域全体の経済成長のけん引

a 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

事業／事業概要		令和 3 年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
1	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業 圏域の産学金官民の有識者で構成する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、有識者からの意見を踏まえ、各種連携事業を推進する。	○7月1日：第1回ビジョン懇談会 開催 【今後の予定】 第2回：10月、第3回：12月、第4回：2月	連携事業の成果指標達成率	
			調査時	-
			目標値	80%（R3年度）
			実績値	R3年度：15%
2	地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業 事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する計画が青森県・国から地域経済牽引事業と承認された場合、当該計画に基づいて行われる設備投資に係る固定資産税等の課税免除措置を講じ、当圏域の経済の好循環を図る。	○地域経済牽引事業計画の申請相談の受付（通年）	地域経済牽引事業計画の承認件数 【累計】	
			調査時	-
			目標値	12件（R3年度）
			実績値	R2年度：4件 R3年度：4件

b 産業クラスターの形成、イノベーションの実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

事業／事業概要		令和 3 年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
3	テレマーケティング関連産業立地促進費補助金 八戸市で実施している IT 関連企業立地促進事業補助金・雇用奨励金の交付要件及び雇用奨励金の対象者について、圏域住民に拡充し、立地企業の事業定着・事業拡大を図るとともに、圏域全体の雇用創出を図る。	○交付決定(予定) 6件	関連企業の従業者数	
			調査時	1,230人（H28.4.1）
			目標値	1,350人（R4.4.1）
			実績値	R2年度（R2.4.1）：1,423人 R3年度（R3.4.1）：1,414人

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
4	企業立地促進条例に基づく各種奨励金 八戸市で実施している企業立地促進条例に基づく各種奨励金の雇用要件を、圏域内住民も対象とし、高度技術産業等の立地促進・圏域内住民の雇用創出や、立地企業の人材確保及び事業拡大を図る。	○交付決定 3件	誘致企業の従業員数（テレマーケティング関連企業を除く）	
			調査時	3,705人（H29.4.1）
			目標値	3,780人（R4.4.1）
			実績値	R2年度（R2.4.1）：4,199人 R3年度（R3.4.1）：4,120人
5	イノバティブ産業集積促進事業 地元企業の新規参入や関連企業の圏域への立地促進、成長ものづくり分野への参入等に係る勉強会の開催などの総合的な支援を行う。	○イノバティブ産業集積促進事業補助金及びイノバティブ産業認証取得補助金の申請事業者を公募中	成長産業参入企業数【分野別総計】	
			調査時	6社（H27年度）
			目標値	20社（R3年度）
			実績値	R2年度：17社 R3年度：17社
6	産学官共同研究開発支援事業 産学官共同研究に関する情報を圏域内事業者提供するとともに、企業と大学等が連携して行う共同研究開発に対し経費の一部を助成し、地域産業の高度化を図る。	○交付決定 1件	本支援事業の採択企業数【累計】	
			調査時	2件（H27年度）
			目標値	10件（R3年度）
			実績値	R2年度：9件 R3年度：10件
7	革新的ものづくり企業連携促進事業 国等の競争的資金の採択企業による取り組みを周知する「企業交流サロン」を開催する等、圏域内事業者の革新的な取り組みや競争的資金に挑戦する意欲醸成を図る。	○企業連携交流サロンを年度内に開催予定（会場、内容など調整中）	企業交流サロンの平均参加者数	
			調査時	29.5人/回（H27年度）
			目標値	30人/回（R3年度）
			実績値	R2年度：19人/回 R3年度：－
8	地域企業支援体制強化事業 コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問し、販路開拓や新商品開発、生産性の向上等の経営課題への助言・情報提供を行う。また、八戸圏域産学官連携会議を開催し、新商品開発に係る支援機能の強化を図る。	○4/1に4人のコーディネーターを委嘱 阿部 孝悦 氏（元八戸インテリジェントプラザ所長） 箭内 武 氏（㈱YANAI 総合研究所代表取締役） 村井 京太 氏（グローバルビューション代表） 八木 清之 氏（八戸まちのコンサル） ○企業訪問件数：38件	企業訪問件数	
			調査時	－
			目標値	115件（R3年度）
			実績値	R2年度：90件 R3年度：38件

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
9	はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業 創業支援拠点である「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」において、圏域の商工会と連携した相談対応や情報発信等を行い、创业者の増加や円滑な事業承継により、雇用の場の維持・創出を図る。	○新規相談者数 57人（うち圏域町村 5人） ○相談件数 255件（うち圏域町村 37件） ○起業件数 20件（うち圏域町村 2件） ○事業承継成立 - 件	起業件数【累計】	
			調査時	5件（H27年度）
			目標値	50件（R3年度）
			実績値	R2年度：155件 R3年度：175件

c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
10	地場産品の販路拡大事業 圏域内の事業者を対象に、首都圏等での大規模展示・商談会に出展し、販路拡大を図る。	○はちのへローカルマーケットの開催（通年） 内 容：はちのへ圏域自慢の逸品コーナー（随時）セレクトフェア（毎月1回程度）※ ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせ中 ○物産振興事業の実施 内 容：首都圏や県内外の百貨店等での物産展の開催、商談会・見本市への参加 参加実績：16回（東京都、仙台市、宇都宮市、浜松市等）	商談成立件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	50件（R3年度）
			実績値	R2年度：101件 R3年度：101件
11	八戸都市圏交流プラザ事業 八戸都市圏交流プラザ「8base」を都内に設置し、飲食提供や物産販売、交流事業などを展開し、圏域の魅力を発信する。	○八戸圏域の食材を活用した食事の提供や地場産品の販売 ※首都圏での新型コロナウイルス感染拡大の影響により、休業や時短営業を実施 ○八戸都市圏交流プラザ運営協議会を開催（5・8月） ○交流イベント「八戸圏域ファンミーティング～ふるさと気分～」の開催 ・第1回目：10/30（土）開催予定（全13回開催予定） ※緊急事態宣言の発令を受け、7～9月に予定していたイベントは延期	来店者数【累計】	
			調査時	-
			目標値	98,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：198,240人 R3年度：241,621人
12	マチニワ・マルシェ 八戸まちなか広場マチニワにおいて、圏域市町村の物産、食材を提供するマルシェ（市）を開催し、今後の商品開発や販売促進に繋げる。	○9/11～9/12に開催を予定していた「38 FUUD FOOD MARCHE 2021」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	開催時の来場者数	
			調査時	-
			目標値	5,000人/回（R3年度）
			実績値	R2年度：1,500人 R3年度：開催中止

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
13	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ 圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域一体となった総合的なフェスティバルを開催する。	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	入場者数（2日間の計）	
			調査時	14,887人（H28年度）
			目標値	17,000人（R3年度）
			実績値	R2年度：1,025人 R3年度：開催中止
14	海外販路拡大事業 海外で開催される物産展等にブース出展するとともに、バイヤーの招聘等を行い、圏域の企業の海外進出を支援し、様々な国に向けた販路の拡大を図る。	○ASEAN向け通年マッチング支援事業 【ベトナム・シンガポールその他ASEAN】 ・商談スキルアップ講座（セミナー）：8月下旬 ・商談用プレゼン資料作成：8月下旬～9月 ・オンライン商談会：10月初旬 ・現地営業代行 ・小売店でのデモンストレーション販売：R4年1月 ○海外販路拡大支援事業補助金 ・交付決定：－社 ○北米向け食品輸出拡大支援事業【シアトル】 ・参加メーカーとのオンライン戦略ミーティング ・雑誌 origami 掲載、SNS 等による情報発信（R3年9月11月） ・PR 動画作成（1分動画×参加メーカー） ・EC サイトによるネット販売（サイト構築、周知）（R4年2月） ・現地営業代行者による販促活動 現地小売店やレストラン等への営業訪問（R4年2月） 既存販売先への販売アドバイス等（R3年10月～12月） 現地レストランでのプロモーション（R4年2月予定）	取引成立（拡大）企業数【累計】	
			調査時	－
			目標値	5社（R3年度）
			実績値	R2年度：17社 R3年度：17社
15	知的財産権対策支援事業 圏域内の中小企業者が自社の優れた技術や高付加価値の製品等を活かし、市場での競争力を維持できるよう、知的財産権に関する普及啓発、課題に対する相談、国内特許等取得に対する支援を行い、知的財産の活用促進を図る。	○知的財産権に関する相談・指導 相談件数：70件（うち圏域町村5件） ○知的財産権に関するセミナーの開催 第1回：10/25開催予定（特許制度関係） 第2回：11/22開催予定（商標制度関係） 第3回：12/20開催予定（意匠制度関係） ○国内特許等出願補助金の交付 特許：2件	知的財産権に関する相談件数	
			調査時	141件（H29年）
			目標値	155件（R3年）
			実績値	R2年度：129件 R3年度：70件

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
16	求人・求職情報等無料ウェブサイト運営事業 求人・求職者情報等無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」の運用により、効果的・効率的なマッチングを図るとともに、求人事業所が求める人材の確保や若年者等の県外流出の抑制を図る。 ※「はちのへジョブ市場」を圏域版にリニューアルし、H29年９月から運用開始	○新規求人登録件数 73 件（うち圏域町村 1 件） ○新規求職者数 38 人（うち圏域町村 1 人）	新規求人登録件数【総計】	
			調査時	87 件（H27 年）
			目標値	400 件（R3 年）
			実績値	R2 年度：660 件 R3 年度：733 件
17	地域事業所人材獲得等支援事業 圏域内事業所に対し、情報発信力の強化、採用力の向上、インターンシップの受入体制の構築を支援するセミナーの開催や人材確保に係る個別相談等を行い、圏域内事業所の人材不足の解消、U I J ターン就職の促進等を図る。	○圏域内企業の県内外への情報発信力強化や採用力向上の支援を目的に、セミナー及び個別相談を実施予定	本事業を活用した事業所のうち、人材を獲得した事業所数【累計】	
			調査時	-
			目標値	30 社（R3 年度）
			実績値	R2 年度：9 社 R3 年度：9 社
18	企業誘致セミナー開催事業 八戸市が実施している首都圏や中部圏でのトップセールスにおいて、圏域の立地環境やインセンティブ等について総合的に PR を行い、圏域への新規企業立地を図る。	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーの開催を中止 ※オンラインによる代替イベントの実施を検討中	参加者数（東京＋名古屋）	
			調査時	450 人（H28 年度）
			目標値	470 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：開催中止 R3 年度：開催中止
19	農業情報提供事業 圏域内の農業者を対象とした農業講座を開催する等、生産技術情報の提供を行い、農業者の経営安定を図る。	○7/6：2講座実施（今後、4講座を実施予定） （内容） ・儲かるいちご経営について ・農業経営振興センターでの栽培調査結果と今後の課題について ・鳥獣害対策について	農業講座受講者数	
			調査時	391 人（H27 年度）
			目標値	450 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：開催中止 R3 年度：75 人
20	新規就農者向け支援施策の情報発信体制の一元化 圏域における新規就農者向け情報発信媒体を一元化することにより、新規就農希望者の利便性の向上を図る。	○各町村の支援施策を取りまとめ、ホームページの更新と各町村への共有を行う。 ○認定新規就農者数（総計）：101 経営体（うち圏域町村 75 経営体）	認定新規就農者数【総計】	
			調査時	58 経営体（H27 年度）
			目標値	164 経営体（R3 年度）
			実績値	R2 年度：100 経営体 R3 年度：101 経営体

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
21	農作業マッチング制度構築事業 定年退職者等の農作業サポーターと支援を希望する農業者のマッチングを促進することにより、農業労働力の確保を図る。	○八戸市シルバー人材センターに、マッチングに関する対応を依頼 ○マッチング件数：10 件（うち圏域町村 3 件） 派遣人数：16 人（うち圏域町村 6 人）	農作業マッチング件数	
			調査時	6 件（H27 年度）
			目標値	12 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：16 件 R3 年度：10 件
22	南郷そば振興センター共同利用事業 南郷そば振興センターの施設を圏域のそば生産者の利用に供し、そば生産の振興を図る。	○施設利用状況 乾燥設備 - 件 選別設備 - 件 製粉設備 3 件、47.0 kg	そば作付面積	
			調査時	125ha（H27 年）
			目標値	132ha（R3 年）
			実績値	R2 年：157ha R3 年：－
23	畜産業及び畜産関連産業振興事業 八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、八戸地域畜産フードフェスタや親子ちくさん探検バスツアー等を実施し、圏域の畜産振興を図る。	○親子ちくさん探検バスツアー 新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止 ○「八戸地域畜産振興推進会議」開催 日程：調整中 委員：15 名 ○八戸地域畜産フードフェスタ 2021 日程：調整中 場所：八食センター	乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼養頭羽数	
			調査時 H26 年	乳 牛：1,526 頭 肉 牛：15,210 頭 豚：116,051 頭 採卵鶏：3,684,451 羽 肉用鶏：3,670,232 羽
			目標値 R4 年	乳 牛：1,530 頭 肉 牛：15,300 頭 豚：136,000 頭 採卵鶏：4,800,000 羽 肉用鶏：4,100,000 羽
		実績値	R2 年 乳 牛：1,170 頭 肉 牛：13,044 頭 豚：114,676 頭 採卵鶏：4,138,400 羽 肉用鶏：4,760,957 羽	R3 年 乳 牛：－ 肉 牛：－ 豚：－ 採卵鶏：－ 肉用鶏：－
24	漆産業振興事業 圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市と情報を共有しながら、ウルシ苗木の購入費用の助成等によりウルシ植栽の促進を図る。	○ウルシ造林事業補助金の交付により、圏域内でのウルシ苗木の植栽を支援 ○苗木の植栽本数：3,300 本	ウルシ苗木の植栽本数【累計】	
			調査時	－
			目標値	8,500 本（R3 年度）
			実績値	R2 年度：3,673 本 R3 年度：6,973 本

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
25	漁業就業支援事業 漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得の方法について情報収集し、パンフレットの作成やホームページ等にて情報発信を行い、就業希望者の技能習得・資格取得の促進や現場で求められる人材の確保を図る。	○相談件数：３件 ○青森県主催の「あおもり漁業就業支援フェア」（12月開催予定）に相談ブースを出展予定	漁業就業に係る相談件数	
			調査時	-
			目標値	15 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度 ： 3 件 R3 年度 ： 3 件

d 戦略的な観光施策の展開

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
26	八戸広域観光戦略推進事業 八戸広域観光戦略等に基づき、関係町村及び一般財団法人 VISIT はちのへと連携し、広域観光戦略推進事業を実施する。	○広域観光マーケティング調査事業の実施 ○ホームページ、SNS、パンフレット等を活用し、国内外からの誘客を促進するためのプロモーションの実施	来訪者満足度（宿泊客）	
			調査時	36.8%（H29 年度）
			目標値	39.8%（R3 年度）
			実績値	R2 年度 ： 35.8% R3 年度 ： -
27	グリーン・ツーリズム推進事業 受入農家の維持・確保や育成を図るとともに、首都圏へのグリーン・ツーリズム情報の発信を行い、交流人口の増加を図る。	○9 月以降に日帰り農作業体験を実施予定（2 校）	修学旅行等の受入校数	
			調査時	5 校（H27 年度）
			目標値	11 校（R3 年度）
			実績値	R2 年度 ： 受入中止 R3 年度 ： 0 校

2 高次の都市機能の集積・強化

a 高度な医療サービスの提供

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
28	ドクターカー運行事業の充実・強化 ドクターカーの運行に係る高度医療機器の整備や更新を行うことにより、ドクターカーを活用した圏域の救急医療の向上を図る。	○「12誘導心電図伝送システム」を導入（6月）	心肺停止傷病者の1ヶ月後の生存率	
			調査時	7.2%（H27年）
			目標値	7.5%（R3年）
			実績値	R2年度：6.4% R3年度：6.4%
29	八戸市総合保健センター運営事業 八戸市総合保健センターを運営し、圏域住民の利用に供することで、医療・健康対策の充実を図る。	○第2期工事（外構）の実施（令和4年3月完了予定） （参考） 令和4年1月4日に八戸市総合健診センター・八戸市医師会臨床検査センターが移転予定	休日夜間急病診療所利用者のうち市外在住者の割合	
			調査時	18.2%（H27年度）
			目標値	20.0%（R3年度）
			実績値	R2年度：16.3% R3年度：－
30	高度医療従事者育成事業 三次救急及び母子周産期医療等、高度医療に従事する八戸市立市民病院の医師・看護師が医療技術の向上や必要な資格取得のため、各種研修・講習会に参加し、圏域の高度医療提供体制の維持・向上を図る。	○ICLS講習会：5/22(土)開催、29名参加 ○JPTEC講習会：6/26(土)開催、24名参加	研修参加者数	
			調査時	113人（H27年度）
			目標値	117人（R3年度）
			実績値	R2年度：22人 R3年度：53人

b 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
31	八戸圏域公共交通計画推進事業 八戸圏域地域公共交通網形成計画に基づき、各種事業を展開し、圏域住民の日常生活に欠かすことのできない地域公共交通を確保することにより、圏域住民の生活の質の維持・向上を図る。	○路線バス上限運賃政策の継続実施 ○八戸圏域利便増進実施計画の策定検討（圏域路線の統廃合等の検討） ○地域連携ICカード「ハチカ」の導入（令和4年3月サービス開始予定）	広域バス路線数	
			調査時	16路線（H27年度）
			目標値	16路線（R3年度）
			実績値	R2年度：15路線 R3年度：14路線

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
32	美術館運営事業 文化施設が集積している八戸市の中心街に新美術館を整備し、圏域町村と連携しながら、各種事業を展開することにより、圏域における新しい文化や価値の創造を図る。	○美術館前広場整備工事の実施 (令和３年９月竣工予定) ○美術館プレイベント実施 (令和３年８月～１０月予定) ○美術館開館 (令和３年１１月３日予定) ○開館記念「ギフト、ギフト、」開催 (令和３年１１月３日～令和４年２月２０日予定)	年間来館者数	
			調査時	－
			目標値	90,000 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : ー R3 年度 : ー
33	八戸ポータルミュージアム事業 八戸ポータルミュージアム「はっち」を核として各種事業を展開し、圏域の文化芸術振興やものづくりを通じた圏域の活性化、賑わい創出を図る。	○アート関係のイベントや、圏域住民が主催する文化活動などにより、文化芸術の振興や圏域内の回遊性を図る事業を実施 ○入館者数：238,446 人	圏域住民等主催の文化芸術活動率	
			調査時	20% (H27 年度)
			目標値	25% (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 28% R3 年度 : 30%
34	ブックセンター事業 八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、企画事業等を実施する。	○セレクトブックストア販売冊数：2,762 冊 ○読書会ルーム貸出件数：31 件 ○カンヅメブース貸出件数：120 件 ○八戸ブックセンターの企画事業について、毎月チラシ及びメールにて圏域内関係機関へ周知	年間来館者数	
			調査時	－
			目標値	90,000 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 69,055 人 R3 年度 : 29,618 人
35	屋内スケート場運営事業 八戸市が屋内スケート場を整備・運営し、圏域住民の利用に供することで、スケートを軸としたスポーツ振興、各種イベントの開催による圏域の活性化を図る。	○7/25：競技者利用開始 ○10月上旬：一般開放開始予定 ○1/17～21：全国高等学校スケート競技選手権大会 (インターハイ) ○2/26～27：JSF 全日本スピートスケート選手権大会	利用者数 (調査時点は長根リンク)	
			調査時	74,533 人 (H27 年度)
			目標値	145,000 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 131,001 人 R3 年度 : 52,725 人
36	多賀多目的運動場運営事業 サッカーＪ３のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を圏域住民の利用に供することで、圏域内外の交流人口の拡大による圏域経済の活性化等を図る。	○ヴァンラーレ八戸 FC ホームゲーム：14 試合 (予定) (2021 シーズン：13 試合、2022 シーズン：1 試合) ○7/10 (土)：ヴァンラーレ八戸 FC ホーム戦初のナイトゲームで、八戸スポーツ振興協議会を通じ、来場者 200 人にプレゼントを提供	多賀多目的運動場を本拠地とするスポーツチームの観客数	
			調査時	－
			目標値	31,000 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 12,683 人 R3 年度 : 8,120 人

c 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
37	学生まちづくり助成金制度 学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付する。	○4/19～5/26：企画募集 ○6/24：選考会 ○7/5：交付決定（3件） ○2/23：学生＆高校生まちづくりコンペティション（成果報告会）開催予定	助成金交付件数【総計】 ※学生まちづくり助成金交付件数のみ	
			調査時	28件（H28年度）
			目標値	53件（R3年度）
			実績値	R2年度：50件 R3年度：53件
38	学官連携地域シンクタンク 八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の3校と八戸市が連携し、地域の政策課題等について、調査研究するための地域シンクタンクを設置し、圏域の職員に参加の機会を提供することにより、職員の資質と能力の向上を図る。	○調査研究テーマ 「アート及び新美術館を軸とした中心市街地活性化に関する研究」 ○プロジェクトチーム会議の開催（8月までに4回開催）	参加市町村職員	
			調査時	2人（H28年度）
			目標値	2人（R3年度）
			実績値	R2年度：3人 R3年度：2人

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

A 生活関連機能の強化

医療体制の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
39	医師派遣事業 八戸市立市民病院から三戸中央病院、五戸総合病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院に、医師の派遣を行う。	○市民病院から各病院に次のとおり医師を派遣 【三戸中央病院】 ・整形外科医（毎週水・金曜日） ・内科系医師（第2金曜日） ・脳神経外科系医師（月2回程度） 【五戸総合病院】 ・内科系医師（毎週木曜日、第4火曜日） ・精神科医（第1火曜日） 【南部町医療センター】 ・外科医（毎週金・日曜日） 【おいらせ病院】 ・外科医（第2土曜日とその翌日の日曜日） ・脳神経外科系医師（第1・第4木曜日、第4金曜日） ・眼科医（第1・第3火曜日）	派遣医師数	
			調査時	194人（H27年度）
			目標値	196人（R3年度）
			実績値	R2年度：312人 R3年度：142人
40	ドクターカー運行事業 圏域の中核病院である八戸市立市民病院のドクターカーを圏域内にて運行し、救命救急医療の充実を図る。	○運行体制：ドクターカー3台配備 ※うち1台は、V3（移動型緊急手術室） ○出勤実績：379件（うち圏域町村 71件）	出勤件数	
			調査時	1,439件（H27年度）
			目標値	1,500件（R3年度）
			実績値	R2年度：1,557件 R3年度：379件
41	救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業 八戸市立市民病院にて開催される救急医療、母子周産期医療に関する講習会等について、圏域町村の救急告示病院や産科標榜病院の医師・看護師に対し、参加の機会を提供する。	○11/13（土）に産科救急&新生児蘇生講習会を開催予定	参加者数	
			調査時	-
			目標値	20人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：-

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
42	周産期医療体制周知事業 周産期における医療体制等の各種情報をホームページ等により提供する。	○ホームページ「赤ちゃんがやってくる」を随時更新 (内容) 圏域の産婦人科・助産院等の一覧、母子健康手帳の交付、健康診査の内容や時期等の情報提供	ホームページ PV 数	
			調査時	5,209PV (H27 年度)
			目標値	5,300PV (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 2,739PV R3 年度 : 1,445PV
43	不妊専門相談センター事業 不妊や不育症に悩む圏域の夫婦等に対して、不妊専門相談センターにおいて専門医が相談に応じる。	○八戸市総合保健センター内において、不妊専門相談を実施(月1回実施、1回につき2件まで)	相談件数	
			調査時	1 件 (H28 年度)
			目標値	24 件 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 7 件 R3 年度 : 0 件
44	AED 普及促進事業 圏域住民を対象に AED 講習会を開催する。8 市町村それぞれで AED を配備し、イベントの際には、必要に応じて相互貸し出しを行う等、圏域の救命率向上を図る。圏域住民を対象に AED 講習会を開催する。	○AED 講習会について、今年度は2回(夏休み・冬休み)開催予定であったが、1回目は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止、2回目の開催については検討中	AED 講習会の参加者数	
			調査時	-
			目標値	55 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 開催中止 R3 年度 : -

子育て支援の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
45	一時預かり保育事業 認定こども園・保育所・幼稚園において、家庭での保育が困難となった児童を一時的に預かる事業について、対象を圏域住民に拡充することにより、圏域の保護者の負担を軽減し、子どもを安心して生み育てる環境の形成を図る。	○保育の実施の対象とならない就学前児童で、保護者の傷病、入院、災害、事故、育児等に伴う心理的、肉体的負担の解消等により緊急、一時的に保育が必要となる児童に対し保育を実施	実施箇所数	
			調査時	31 箇所 (H28 年度)
			目標値	34 箇所 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 30 箇所 R3 年度 : 32 箇所
46	ファミリーサポートセンター事業 育児援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)のマッチング機能を担うファミリーサポートセンター事業を実施する。	○7月中旬～下旬:第1回 提供会員養成講習会の実施 ○登録会員数:665人(うち圏域町村72人)	登録会員数	
			調査時	714 人 (H27 年度)
			目標値	850 人 (R3 年度)
			実績値	R2 年度 : 644 人 R3 年度 : 665 人

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
47	子育てつどいの広場事業 八戸ポータルミュージアム内に設置した子育て集いの広場「こどもはっち」を運営し、子育て世代の交流の場として圏域住民の利用に供する。	○通年で以下の事業を実施 (１)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (２)子育て等に関する相談、援助の実施 (３)地域子育て関連情報の提供 (４)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 (５)豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等の実施 (６)地域の子育て力を高める取組の実施 ○利用者数 10,498 人（うち圏域町村 578 人）	利用者数	
			調査時	52,408 人（H27 年度）
			目標値	52,500 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：24,097 人 R3 年度：10,498 人
48	子育てサロン事業 小学校入学前の子どもと親の交流を目的に八戸市内の地区公民館等を拠点として、絵本の読み聞かせや季節の行事等の子育てサロン事業を実施する。	○季節の行事、親子での運動や工作などの場を提供し、地域の子育て親子間の交流を促進 ○開催数：40 回	実施地区数	
			調査時	21 地区（H28 年度）
			目標値	21 地区（R3 年度）
			実績値	R2 年度：9 地区 R3 年度：14 地区
49	地域子育て支援拠点事業 八戸市内の認定こども園・保育所等において、圏域住民を対象とする子育て関連情報の提供や、講習会開催等により、圏域の親子の交流促進を図る。	○子育て親子の交流、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供や講習等を実施 ○各施設において、月１回チラシを発行し、子育て関連情報を提供 ○子育て支援に関する講習等の開催数：281 回	実施箇所数	
			調査時	15 箇所（H28 年度）
			目標値	15 箇所（R3 年度）
			実績値	R2 年度：13 箇所 R3 年度：13 箇所
50	児童虐待防止対策事業 児童虐待防止対策の強化を図るため、八戸市総合保健センターを活用し、専門職員の支援技術習得のための研修会を開催するとともに、一般セミナーの開催において、圏域住民に対する啓発を行う。	○専門職向け研修会 開催時期：令和３年 10 月 6 日（水） 開催場所：八戸市総合福祉会館 研修内容：「発達障がいと行動障がい」 講 師：ささクリニック相談員 社会福祉士・精神保健福祉士 清水 博己氏 ○住民向け研修会 開催時期：令和４年 1 月～2 月 開催場所：八戸市総合保健センター 研修内容：「しつけと体罰」等	研修会等の参加団体数	
			調査時	42 団体（R2 年度）
			目標値	115 団体（R3 年度）
			実績値	R2 年度：－ R3 年度：－

高齢者福祉の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
51	高齢者福祉合同研修会等の開催 認知症や虐待などの各種困難事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなど、合同研修会を開催し、圏域全体で支援の質の向上を図る。	○11/10（木）高齢者福祉合同研修会 開催 対象者 高齢福祉関係事業所の職員 場 所 ハイブリッド形式 （各市町村会場及びオンライン配信） テーマ グリーフケア・看取りについて（基礎編） ～支える・つながるチームケア～ 講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子氏	研修会等出席者数	
			調査時	129 人（H28 年度）
			目標値	200 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：開催中止 R3 年度：－
52	あんしんカード事業 圏域において、認知症等により、徘徊して自宅に戻れなくなる可能性のある方の情報を登録するとともに、あんしんカード等を配付し、登録者が保護された場合、家族等に連絡する仕組みを構築する。	○四半期毎に登録申請者数の現状等の確認する「あんしんカード事業実態調査」を実施（調査対象：圏域市町村） ○広報紙や HP 等を活用し、圏域内住民へ事業周知 ○登録者総数：500 人（うち圏域町村 151 人）	登録者総数	
			調査時	348 人（H28 年度）
			目標値	725 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：472 人 R3 年度：500 人
53	救急医療情報キット配付事業 救急時に駆けつけた救急隊員等が迅速に対応できるよう、関係市町村の災害時要援護者等に対し、かかりつけ医療機関、持病等の情報を保管する救急医療情報キットを配付する。	○各自治体において、救急医情報キットを配付 新規配付対象者：41 人（うち圏町村 12 人） 配付数量：40 部（うち圏町村 11 部）	新規配付対象者への普及率	
			調査時	－
			目標値	90%（R3 年度）
			実績値	R2 年度：97.9% R3 年度：97.5%
54	成年後見制度利用促進事業 市民後見人の養成・推進、研修・啓発を行い、成年後見制度の利用促進を図る。	○市民後見人フォローアップ研修（年 4 回開催） ・第 1 回（オンライン配信） 配信期間 6/15（火）～7/30（金） 受講者数 18 人（うち圏域町村 6 人） ・第 2 回（9 月中旬よりオンライン配信を予定） ○成年後見セミナー（年 1 回開催） ・開催日程 令和 4 年 2 月予定	研修会参加者数	
			調査時	－
			目標値	100 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：127 人 R3 年度：18 人
55	医療・介護連携マップ管理運営事業 圏域内の医療機関・介護事業所の情報をマップ化し、ホームページ上に掲載することで、医療・介護の専門職がより円滑に連携することを支援し、地域の高齢者等に対する効率的かつ効果的なサービス提供を図る。	○圏域町村のホームページに「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」のリンクを掲載 ○掲載事業所数：1,101 件（うち圏域町村 296 件）	医療・介護連携マップ PV 数（月間）	
			調査時	8,680PV（H30 年 3 月）
			目標値	13,000PV（R4 年 3 月）
			実績値	R2 年度：11,324PV R3 年度：11,053PV

障がい者福祉の充実

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
56	障がい者福祉合同研修会等の開催 圏域内の障がい者福祉の充実を図るため、福祉に関心のある住民や福祉サービス事業に携わる関係者及び行政職員を対象とした合同研修会等を開催する。	○行政職員対象研修会 日 程：11/24（水） テーマ：（仮）「インクルーシブな避難所を実現するために」 ○事業関係者及び住民対象講演会 日 程：1/22（土） テーマ：（仮）「新型コロナウイルスと障害者について」	参加者数	
			調査時	159 人（H27 年度）
			目標値	180 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：114 人 R3 年度：－
57	障害支援区分判定審査事務の共同実施 市町村が行う障害支援区分判定審査に係る事務について、圏域内の事務を八戸市において実施し、事務の効率化を図る。	○認定審査会の開催：16 回 （今年度は予備回（6 回）を含め、42 回開催予定） ○審査件数：372 件（うち圏域町村 86 件）	審査件数	
			調査時	686 件（H27 年度）
			目標値	720 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：749 件 R3 年度：372 件

中小企業従事者の福祉向上

事業／事業概要		令和３年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
58	勤労者福祉サービスセンター事業 圏域の中小企業の従業員向けの福利厚生事業の実施や、勤労者福祉サービスセンターへの加入を促進し、圏域中小企業の負担を軽減するとともに、福利厚生を充実し、早期離職者の減少を図る。	○給付事業：祝金、見舞金、死亡弔慰金 （実績）236 件 2,257,000 円 ○助成事業：グルメ＆お買い物券、市 6 施設無料利用券配布、人間ドック受診料助成、コンサートチケットあつ旋 など （実績）グルメ＆お買い物券 1,922 枚 市 6 施設無料利用券利用者 87 人 など ○企画事業：月 1 回程度のイベント企画（会員は特別価格で参加可能） （内容）いちご摘み取り体験、パークゴルフ大会、マリンアクティビティ体験 など ○会員数：1,382 人（うち圏域町村 30 人）	会員数	
			調査時	1,434 人（H28 年）
			目標値	1,454 人（R4 年）
			実績値	R2 年度：1,324 人 R3 年度：1,382 人

消費者支援の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
59	消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化 消費生活に係る相談事業を行うとともに、関連講座を開催し、圏域全体の消費者被害の未然防止や早期解決を図る。	○消費者講座 ・前期4回、後期5回 開催 ・参加者数 53名参加（うち圏域町村3名） 【テーマ】 ・足と靴の健康講座～健康は足元から～ ・終活セミナー～変化するお葬式、その準備と費用～ ・大人のためのお金と生活の知恵～次世代に向けて～など ○若年者向け出前講座 ・前期1回 開催 ・参加者数 20名（八戸准看護学院） 【テーマ】 ・賢い消費者になるために	消費者講座への参加者数	
			調査時	1,319人（H27年度）
			目標値	1,700人（R3年度）
			実績値	R2年度：269人 R3年度：73人

社会教育の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
60	生涯学習情報提供事業 関係市町村で実施している各種講座などについて、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民に周知することにより、圏域住民の学習機会の選択肢を増やす。	○6～11月：八戸市民大学講座（全6講義開催） ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、修了認定と第4講義（9/28開催）を中止	市民大学講座受講者数と修了者数	
			調査時	6,526人/132人（H27年度）
			目標値	6,600人/140人（R3年度）
			実績値	R2年度：開催中止 R3年度：769人/0人
61	図書館相互利用事業 圏域内の住民が、圏域内の図書館・図書室において貸し出しを受けることを可能とすることにより、利用者の利便性向上と、本に触れ合う機会の創出、増加を図る。	○H29年11月：図書館等相互利用に関する協定を8市町村で締結（参考） 八戸市立図書館の新規登録者数 1,378人（うち圏域町村67人）	人口100人当たりの貸出冊数	
			調査時	277冊（H27年度）
			目標値	297冊（R3年度）
			実績値	R2年度：270冊 R3年度：－

学校教育の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
62	広域的体験学習支援事業 圏域市町村の小学校による、文化・スポーツ等の公共施設を活用した児童対象の体験学習の実施を支援する。	○4/23（金）：事業開始 申込件数 51 件（うち 30 件が終了済） （参考） 圏域の小学校：70 校（八戸市 42 校・圏域町村 28 校）	圏域内小学校の利用割合	
			調査時	73%（H27 年度）
			目標値	90%（R3 年度）
			実績値	R2 年度：73% R3 年度：36%

高等学校による地域活動の促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
63	高校生地域づくり実践プロジェクト 高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付するとともに、地域と高等学校・生徒の交流促進を図る。	○八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金 ・4/19～6/4：企画募集 ・7/6：選考会開催 ・7/12：交付決定（4 件） ・2/23：学生＆高校生まちづくりコンペティション ○高校生×地域連携交流会（11/13 開催予定）	地域活動支援件数【累計】	
			調査時	-
			目標値	20 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：20 件 R3 年度：24 件

スポーツ活動の機会の充実

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
64	氷都八戸パワーアッププロジェクト 圏域において、スケート教室への指導者派遣やスピードスケート教室の開催等によりスケート振興を図る。	○スケート教室への指導者派遣 ○スケート教室の開催 ・11～12 月の土・日・祝日に、全 7 回の開催予定 ・開講式で、オリンピックメダリスト 岡崎朋美氏からのビデオメッセージを上映予定 ○スケート競技用具購入支援事業 ・交付決定件数：16 件（うち圏域町村 1 件）	スピードスケート教室の実施回数	
			調査時	9 回（H27 年度）
			目標値	9 回以上（R3 年度）
			実績値	R2 年度：4 回 R3 年度：-
65	スキー場活用促進事業 田子町在住の小中学生・高校生を対象に実施する創遊村 229 スキーランドのシーズン券事前予約割引を圏域市町村に拡充するとともに、創遊村 229 スキーランド及び新郷村 営金ヶ沢スキー場の PR を行い、両スキー場の活用促進を図る。	○12 月上旬：229 スキーランドの事前予約開始	229 スキーランドの事前予約シーズン券利用者数	
			調査時	80 人（R1 年度）
			目標値	190 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：- R3 年度：-

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
66	体育施設情報共有化事業 圏域内の体育施設情報をまとめたホームページを作成し、体育施設の相互利用促進を図る。	○H30年7月にスポーツ施設情報ページを開設し、各市町村のHPで公開中	ホームページPV数	
			調査時	-
			目標値	20,000PV（R3年度）
			実績値	R2年度：1,039PV R3年度：391PV
67	スポーツ大使派遣事業 八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使（団体に限る）を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演会やスポーツ教室を開催することで、児童・生徒等の郷土への愛着及び誇りの醸成を図る。	○6/26：3人制バスケットボールチーム「八戸DIME」をスポーツ大使に委嘱 ○新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、派遣時期について検討中	大使派遣件数	
			調査時	2件（H29年度）
			目標値	13件（R3年度）
			実績値	R2年度：3件 R3年度：-

不法投棄の防止

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
68	不法投棄防止事業 関係市町村が共同で、不法投棄防止のための各種対策を講じ、不法投棄の抑止・減少を図る。	○5/30（ごみゼロの日）～6/8（世界海洋デー）の「海ごみゼロウィーク」の期間中にパトロールを実施 ○パトロール実施日 三戸町 6/4 五戸町 6/2、6/8 田子町 6/8 南部町 5/31、6/2、6/3 階上町 6/3、6/7 新郷村 6/8 おいらせ町 6/8 八戸市 6/1、6/2	合同パトロールの実施回数	
			調査時	年1回（H27年度）
			目標値	年1回以上（R3年度）
			実績値	R2年度：1回 R3年度：1回

安全・安心なまちづくりの推進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
69	安全・安心情報発信事業 圏域住民のニーズに合わせ、安全・安心に係る各種情報や災害情報等をメール「愛称：ほっとスルメール」にて発信するもので、災害や犯罪等に対し、初期段階で対応することができるようにする。	○登録件数：57,783件（うち圏域町村 13,378件）	登録件数割合	
			調査時	16.69%（H27年度）
			目標値	26%（R3年度）
			実績値	R2年度：24.81% R3年度：－
70	福祉避難所の設置及び圏域での相互利用 災害時において、特別な配慮が必要な方を受け入れ対象としている福祉避難所について、民間施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。	○圏域の各市町村が、それぞれの域内の事業者と相互利用を可能とする「福祉避難所の確保に関する協定」を随時締結し、災害発生時には圏域での相互利用を実施する。 ○福祉避難所数：184箇所（うち圏域町村 111箇所）	福祉避難所数	
			調査時	166箇所（H27年度）
			目標値	176箇所（R3年度）
			実績値	R2年度：182箇所 R3年度：184箇所
71	危険空き家対策のための合同研修会等の開催 各市町村における危険空き家等対策の現状・課題の整理や意見交換、専門家や先進自治体職員を招いての研修会開催により、危険空き家等に関する課題解決を図る。	○7/21（水）に第1回研修会を開催 ○11月に第2回研修会を開催予定	研修会の開催回数	
			調査時	－
			目標値	2回（R3年度）
			実績値	R2年度：2回 R3年度：1回
72	国土強靱化地域計画推進事業 国土強靱化地域計画を平成30年度に係る市町村合同で策定し、同計画に基づいた施策を圏域全体として推進することにより、強靱な地域の形成を図る。	○市町村担当課長会議（10月開催予定） 計画に記載している連携項目の実施等について協議 ○連携項目の実施 12項目のうち、7項目（うち新規2項目）を実施予定【新規の2項目】 ・消防団員の確保に向けた広報・周知 ・自主防災組織情報交換会の実施	合同会議の開催数【累計】	
			調査時	－
			目標値	7回（R3年度）
			実績値	R2年度：6回 R3年度：6回

B 結びつきやネットワークの強化

地域内外の住民との交流・移住促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
73	移住・交流推進事業 移住・交流パンフレットの作成や移住・ポータルサイトの開設、首都圏での相談会・イベント等出展のほか、八戸市東京事務所内の「観光・UI」ターン窓口」などと連携し、移住・交流の促進を図る。	○ふるさと PR の実施（R3 年 12 月頃） ○八戸都市圏移住セミナーの開催（R4 年 2 月頃） ○国や県等が主催する移住関連イベントに参加予定 ○移住相談件数：172 件（うち圏域町村 21 件）	移住相談件数	
			調査時	99 件（H27 年度）
			目標値	297 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：464 件 R3 年度：172 件
74	縁結び支援事業 圏域の地域特性に合わせた支援事業の実施や、圏域内の結婚支援に関する情報の共有を行うほか、文化体験型の婚活イベント開催により、結婚に向けた機会の増加や、定住意識の高揚等を図る。	○令和3年10月中旬～令和4年2月末 オンラインによる婚活セミナー及び婚活パーティーを実施予定 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面方式のイベント開催は中止	参加者数	
			調査時	－
			目標値	120 人（R3 年度）
			実績値	R2 年度：開催中止 R3 年度：－
75	八戸圏域活性化支援事業 八戸圏域における営利を目的としない団体が行う圏域の活性化に資する事業に対して、経費の一部を助成することにより、圏域内外の住民との交流促進や、圏域の活性化を担う人材の育成を図る。	○4/7：助成金の公募開始 ・事業期間：4/7～1/31 ・交付決定：3 件	助成金交付件数【累計】	
			調査時	－
			目標値	32 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：11 件 R3 年度：14 件
76	住民活動保険事業 行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を導入し、圏域住民が安心して活動することができる環境の構築を図る。	○契約先：あいおいニッセイ同和損害保険(株) ○期 間：令和3年4月10日～令和4年4月10日 ○対象事故件数：3 件	対象事故件数【累計】	
			調査時	－
			目標値	30 件（R3 年度）
			実績値	R2 年度：34 件 R3 年度：37 件

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
77	公共交通による交流促進事業 バスに乗車すると施設入場券等がお得になるバスパック・クーポン券を、交通事業者、沿線施設等と連携して企画・商品化し、路線バスを活用した余暇の過ごし方（お出かけ）の提案を通じ、通勤・通学等の日常利用以外のバス利用の促進を図る。	○圏域路線を対象とした日帰りバスパックの企画・提供（バスパック利用者数） ①11ぴきのねこさがしバスパック 6人 ②ごのへ★馬肉料理★バスパック 18人 ③南部町バーデパークバスパック 7人 ④はしかみ蕎麦と岳満喫バスパック 5人 ⑤おいらせ町美味しい酒とそばバスパック 0人 ⑥十和田市現代美術館バスパック 69人 ⑦櫛引八幡宮国宝館バスパック 20人 ⑧八戸酒造 酒蔵見学バスパック 14人 ⑨是川縄文館バスパック 96人 ⑩博物館・史跡根城の広場バスパック 113人	バスパック利用者数	
			調査時	1,400人（H27年度）
			目標値	1,540人（R3年度）
			実績値	R2年度：371人 R3年度：348人

C 圏域マネジメント能力の強化

圏域内市町村職員の育成

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
78	職員合同研修の開催 八戸市が実施している職員研修プログラムの連携町村職員の参加機会の提供や、合同研修会を開催し、職員の資質と能力の向上や関係市町村職員の交流を図る。	○7/13（火）～7/16（金）：主査級職員研修 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、八戸市職員のみで実施 ○10/4（月）～10/7（木）：新採用後期研修 ○11/22（月）、11/24（水）：主事級職員一部研修 ○1/17（木）、1/18（金）：主事級職員二部研修 ○行財政研修会：時期未定	圏域内市町村職員の資質と能力の向上及び各市町村職員間の交流の満足度	
			調査時	－
			目標値	80%（R3年度）
			実績値	R2年度：88.1% R3年度：－

女性の活躍促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
79	女性チャレンジ講座開催事業 圏域内の女性を対象としたビジネススキル養成講座や行政講座等を開催し、参加者同士のネットワークの構築や参加者の自己啓発・自己研鑽を図る。	○2年間の登録制の連続講座の開催 ・7月～2月（計7回）実施 ・受講者 43人（うち圏域町村 11人） ※R3年度 新規受講者 21人 ○公開講座（一般の方を対象とした体験講座） ・令和3年10月22日（金） ・テーマ：「ニューノーマル時代必須！ビジネスで使えるオンラインツール活用術」	女性チャレンジ講座受講生数 【H23年度からの累計】	
			調査時	125人（H27年度）
			目標値	230人（R3年度）
			実績値	R2年度：230人 R3年度：251人

NPO等の活動促進

事業／事業概要		令和3年度 事業実施状況・予定	成果指標／目標値／実績値	
80	八戸圏域住民活動促進事業 圏域内のNPO等が市民活動関連情報を共有できる仕組みを整備するとともに、八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」が実施する各種事業により、圏域のNPOや住民の活動を支援する。	○住民活動促進講座（2講座開催） 10/9（土）：八戸市（八戸ポータルミュージアムはっち） 10/24（日）：田子町（田子中央公民館） ○出前わいぐ（7回開催） 八戸市：8/29（日）はちのへほコテン（※） 9/26（日）ボランティアフェスティバル（※） （※）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 10/9（土）第1回住民活動促進講座 1/22（土）～1/23（日）出前わいぐ in はっち 田子町：10/23（土）～24（日）ひとくるめ文化祭 階上町：10/30（土）～31（日）階上町民文化祭 新郷村：10/10（日）ふるさとまつり実行委員会 ○登録団体数：195団体（うち圏域町村 14団体）	市民活動サポートセンター登録団体数	
			調査時	207団体（H27年度）
			目標値	240団体（R3年度）
			実績値	R2年度：191団体 R3年度：195団体

第2期 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

【一次案】

令和 3 年 9 月

八 戸 市

目 次

序章 ビジョンの策定に当たって	26
1 策定の趣旨	26
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称	26
3 具体的な取組期間	26
第1章 圏域の概況	27
1 構成市町村の概況	27
2 地域資源の状況	30
3 圏域の結びつき	32
4 人口の動向	33
5 産業の動向	39
6 都市機能・生活機能の状況	55
第2章 圏域の中長期的将来像	61
1 人口の将来展望	61
2 圏域の方向性	61
3 目指す将来像	61
第3章 将来像の実現に向けた具体的取組	61
1 施策体系	61
2 具体的取組	61
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	61
(2) 高次の都市機能の集積・強化	61
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	61
3 推進体制	61

序章 ビジョンの策定に当たって

1 策定の趣旨

八戸圏域は、平成21年9月に定住自立圏形成協定を締結し、圏域市町村が連携・協力して、定住の受け皿として必要な都市機能及び生活機能の確保・充実に努めるとともに、魅力あふれる地域づくりを推進してきました。

また、平成29年3月には、連携中枢都市圏へと発展的に移行し、「地域の個性が輝き自立した八戸圏域」を目指すべき将来像として掲げ、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に関する取組を着実に進めてきました。

このような中、近年、人口減少の進行や自然災害の激甚化・多発化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、当圏域を取り巻く環境は大きく変容しており、今後、当圏域が一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域として更なる飛躍を遂げるためには、これまで培ってきた緊密な連携に基づく連携中枢都市圏の取組の深化を図り、圏域全体の一体的発展につなげていく必要があります。

以上を踏まえ、令和4年度を開始年度とした今後5年間における八戸圏域連携中枢都市圏の中長期的将来像と具体的取組を示す新たな連携中枢都市圏ビジョンを策定します。

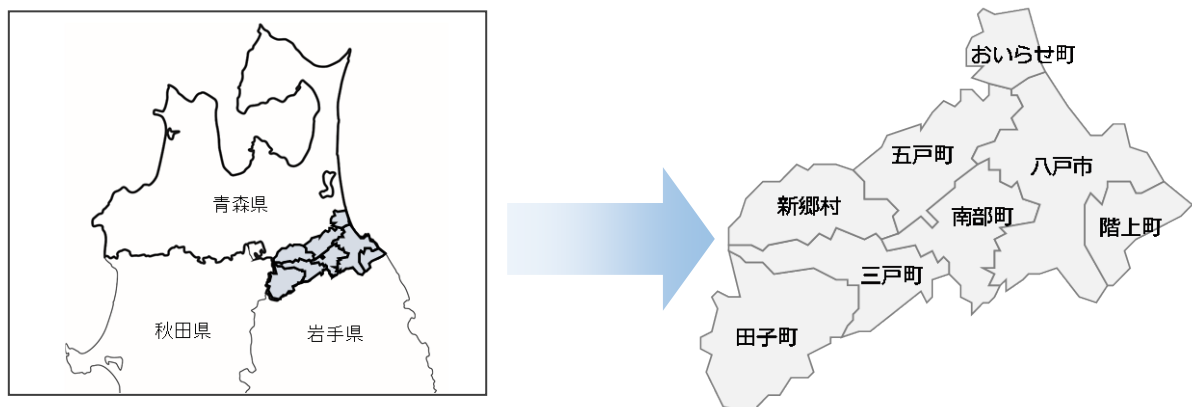
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

(1) 連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏（愛称：八戸都市圏スクラム^{エイト}8）

(2) 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

八戸市（連携中枢都市）、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



3 具体的な取組期間

本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の期間は、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間とします。

第1章 圏域の概況

1 構成市町村の概況

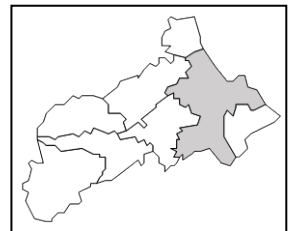
構成市町村の概況は以下のとおりです。カッコ書きは、各市町村における総合計画の将来像を示しています。

八戸市

「ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市」

【連携中枢都市】

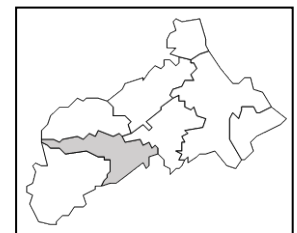
- ・八戸市は、古く藩政時代から、圏域をはじめ北奥羽地域の経済・社会・文化の中心として栄え、全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として発展し、平成29年1月1日には中核市に移行しました。
- ・今後は、これまで整備してきた高度な都市機能を活かし、圏域内での更なる地域医療の充実やにぎわい創出を図るとともに、多種多様な産業や豊かな地域資源を活用した地域経済の活性化や観光の振興を図り、八戸圏域の中心市として、活力ある経済圏・生活圏の形成を目指していきます。



三戸町

「みんなが集う みんなで創る みんなを笑顔に 美しいふるさと さんのへ」

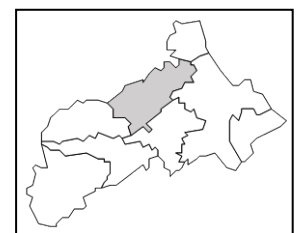
- ・三戸町は、戦国時代、北東北一帯を支配していた三戸南部氏の居城「三戸城」が築かれ、城下町として栄えた古い歴史を有し、明治22年に誕生してからは、三戸地方の中心地として大きな役割を果たしてきました。「りんご」をはじめとした果樹、米、葉たばこ、畜産などの農業が盛んで、近年は、町出身の漫画家「故・馬場のぼる」さんの人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズのキャラクターを活用したオンリーワンのまちづくりに取り組んでいます。
- ・今後は、「三戸独自の風土」に誇りを持ち、人、自然、文化という優れた資源や、経験から得た知識を活かしながら、町民一人ひとりが地域社会の一員として集い、共生・協働のまちを創出することで、生涯にわたり生きがいを感じ、笑顔があふれるまちづくりを目指していきます。



五戸町

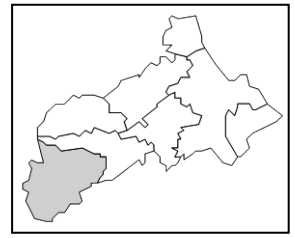
「人とまちの活力で未来を拓く、共創(協創)の郷 ごのへ」

- ・五戸町は、野菜を中心とした複合経営の農業、商業、内陸型工業のほか、五戸地方における行政、医療や県南地方の農業研究に関する中心的役割を果たしてきました。また、豊かな自然環境の中に運動公園施設や図書館、ごのへ郷土館等の文化施設を整備するなど居住環境の整備も進めてきました。
- ・今後は、内陸型工業の集積を指向するとともに、みんなで創る活気ある町づくりに努め、さらに、八戸市や近隣町村との連携を強化して、五戸地方における中核的役割を果たしていくことを目指していきます。



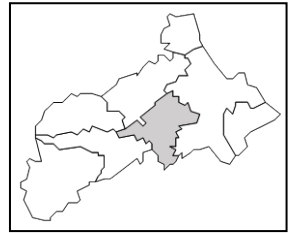
田子町 「ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち」

- ・田子町は、八戸圏域の最南端に位置し、青森、秋田、岩手の三県の県境に接する町で、広大な牧草地と豊富な森林資源を有しています。町の基幹産業は、農業と畜産を組み合わせた耕畜連携の地域農業を振興しています。中でも、にんにくは「たっこにんにく」の地域団体商標を取得し、更に、新品種「たっこ1号」を開発するなどブランド力を高めてきました。また、夏秋野菜、葉たばこ、田子牛（黒毛和牛）などの産地化とブランド化に努めています。
- ・今後は、北東北の二大観光地、十和田八幡平国立公園と三陸復興国立公園を結ぶ最短ルートの沿線にあるという地理的特性を生かし、「みろくの滝」等の自然資源を活かした観光交流の拡大を図るとともに、町営ケーブルテレビなどの地域情報網とコミュニティバスなどの地域ネットワークの構築、国際交流を活かした教育の充実など、高齢者と子どもにやさしい地域づくりを目指していきます。



南部町 「みんながつながり達者に暮らす 笑顔あふれるまち 南部町」

- ・南部町は、八戸市に隣接し、国道4号と104号が合流する交通の要衝に位置している。果樹を中心とした安全・安心な農作物の生産拠点であるほか、「農業観光四季のまつり」、「達者村」、農業体験修学旅行生の受入れなどの施策を展開し、交流を推進しています。
- ・今後は、基幹産業である農業をはじめ各種産業の振興を図っていくため、南部藩発祥の地、国史跡聖寿寺館跡、国指定重要文化財南部利康霊屋、国登録有形文化財承陽塔、南部手踊り発祥の地等の歴史的遺産と各種観光資源を複合したグリーン・ツーリズムの推進など、都市・地域間交流を積極的に推進するとともに、全国唯一の町営地方卸売市場が圏域内の一大流通拠点となることを目指していきます。



階上町 「心豊かで安心安全な暮らしと 活力あふれる地域をみんなでつくる はしかみ New era plan」

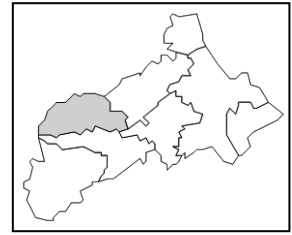
- ・階上町は、八戸市の南東に位置し岩手県境に接する町であり、公共下水道事業等の住環境の整備が進められ、八戸市のベッドタウンとなっています。
- ・「元祖いちご煮」や「階上早生階上そば」、「階上産アブラメ」をはじめとして、町の地域資源を活かした階上ブランドを推進するとともに、三陸復興国立公園の一部である階上岳や階上海岸等の豊かな自然を活かした体験型観光の推進と、都市住民と農村の交流の場や圏域住民の憩いの場として豊かな自然を提供することにより、産業振興と地域活性化を目指しています。
- ・今後は、町民と行政がパートナーとして連携し、住民の意見を反映させるとともに、効率的・効果的な行財政運営を進められるよう、これまで取り組んできた「協働のまちづくり」をさらに推進していきます。



新郷村

「未来へ残す、未来を創る この地・この人・この文化」

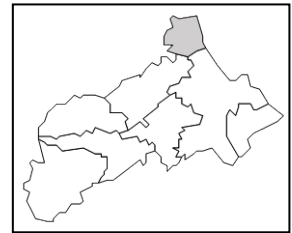
- ・新郷村は、米、野菜、畜産を主体とした農業をはじめ、素材生産はもとより環境保全等の公益機能を有する林業を基幹産業とし、農林畜産物生産の拠点的役割を果たしています。
- ・また、十和田・八幡平国立公園に接する迷ヶ平や間木ノ平地区生活環境保全林は、自然滞在型体験観光エリアであるとともに、その周辺にはキリストの墓や大石神ピラミッド、新郷温泉館、水芭蕉群生地等があり、圏域内外からの観光客の保養の場としての役割を果たしています。
- ・農業を基幹産業として営み続けてきた本村は、今後も農業の村として存続を図っていくとともに、農業・林業・畜産業の発展を通じ村の文化を未来へ残すため、地域と結びついた産業を育み、新たな創造に努めていきます。また、国の方針にも「地方創生」と「人材育成」とあるように、人や地域の個性を活かすことがますます重要となることから、「この」=「これがいい」と選ばれる、誇りを持てる村であるために、「新郷ならではのよさ」を育んでいきます。



おいらせ町

「子どものびのび 大人いきいき ともにつくる おいらせ町」

- ・おいらせ町は、八戸市・三沢市・十和田市の中心に位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅、八戸港、三沢空港などの陸・海・空の交通網の結節点として地理的にも恵まれており、近隣市のベッドタウン的役割を果たしています。
- ・産業面では、水稻、畑作、畜産及び施設園芸を主体とした複合型農業や、臨海部の百石工業団地及び大型商業施設を核とした商業集積等、商工業の振興による雇用の場の創出を促進しています。
- ・今後は、未来を担う子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境をつくり、大人たちが仕事、地域活動や趣味などで活躍し、いきいきと元気にくらす町を目指していきます。



2 地域資源の状況

	自然・景勝地	歴史・民俗	スポーツ施設
八戸市	・三陸復興国立公園（種差海岸） ・天然記念物蕪島 ウミネコ繁殖地 ・名勝 種差海岸 ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク ・市民の森 不習岳	・国宝(赤糸威鎧兜 大袖付、白糸威褌 取鎧兜大袖付、合掌土偶) ・是川石器時代遺跡 ・史跡根城跡 ・櫛引八幡宮 ・清水寺観音堂 ・旧島守発電所 保存公園 ・新むつ旅館 ・更上閣 ・八戸酒造 ・八戸えんぶり ・八戸三社大祭 ・加賀美流騎馬打毬 ・法霊神楽 ・鮫の神楽 ・旧河内屋橋本合名会社	・長根公園 ・新井田公園 ・東運動公園 ・南部山健康運動公園 ・FLAT HACHINOHE ・八戸市屋内トレーニングセンター ・カッコーの森エコーランド
三戸町	・県立自然公園(名久井岳)	・三戸城跡城山公園・関根の松 ・奥州街道、駕籠立場(一里塚) ・斗内千人塚・泉山の登拝行事 ・佐藤家建造物 ・斗内獅子舞 ・白虎隊供養碑	・三戸町スポーツ文化福祉複合施設(アップルドーム) ・三戸町民体育館 ・サン・スポーツランド三戸 ・三戸町勤労者体育センター ・松原公園・三戸町民プール ・さんのへパークゴルフ場
五戸町	・桜沼公園 ・日本一のカシワの木 ・槍沢のしだれ桜	・旧圓子家住宅 ・江渡家住宅 ・五戸町消防団 第一分団屯所 ・寶福寺 ・新山神社 ・明治天皇行在所 ・南部駒踊り ・館町神楽舞 ・五戸えんぶり ・田植え・田の草 取り唄と踊り ・奥州街道	・ひばり野公園 ・五戸ドーム ・倉石スポーツセンター ・町立公民館体育センター
田子町	・みろくの滝 ・大黒森の山つつじ ・四角岳 ・真清田神社の杉 ・釜淵観音堂の大イチョウ ・蛇王の松・三本松の山ノ神 ・桂水カツラ・だだっちの木	・田子館、牛尾館 ・奇峰学秀の仏像 ・真清田神社・釜淵観音堂 ・洞門寺山門、仁王像 ・旧橋本家住宅 ・田子神楽、石亀神楽 ・田子の虫追い ・ナニヤドヤラ(盆踊り)	・創遊村229スキーランド ・農業者トレーニングセンター ・町民グラウンド ・町民プール ・農山村広場 ・農村環境改善センター
南部町	・県立自然公園(名久井岳) ・法光寺の千本松	・南部利康霊屋 ・南部利直霊屋 ・史跡聖寿寺館跡 ・白華山 法光寺 承陽塔(三重の塔) ・南部地方えんぶり ・南部手踊り	・名川B&G 海洋センター ・町民体育館 ・福地体育センター ・ふるさと運動公園 ・ふくち運動公園 ・たいら運動公園 ・すば一く名川 ・ふくちアイスアリーナ ・八戸射撃場
階上町	・三陸復興国立公園（階上岳、階上海岸） ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク	・赤保内駒踊り ・平内鶏舞 ・平内えんぶり ・田代えんぶり ・鳥屋部えんぶり ・道仏神楽 ・寺下観音 ・館神社 ・巨樹・巨木	・石鉢ふれあい交流館 ・町民プール ・八戸カントリークラブ ・中央体育館・町民体育館 ・あおぞらテニスコート ・クライミングジムノースロック
新郷村	・日本一ダケカンバ(樹木) ・戸来岳 ・十和利山 ・権現の滝 ・水芭蕉群生地	・ナニヤドヤラ(盆踊り) ・キリストの里公園(キリストの墓) ・大石神ピラミッド ・長慶天皇の墓	・村営金ヶ沢スキー場 ・村営プール ・村営野球場
おいらせ町	・長寿日本一の根岸の大いちょう ・間木堤白鳥飛来地 ・いちょう公園（自然散策道）	・氣比神社 ・史跡阿光坊古墳群 ・百石えんぶり ・百石まつり ・下田まつり	・いちょう公園 ・下田公園 ・町民交流センター ・いちょう公園体育館 ・町民プール

文化・芸術施設	レクリエーション施設	産直施設	その他	
・八戸市公会堂 ・八戸市美術館 ・八戸市博物館 ・南郷文化ホール ・南郷歴史民俗資料館 ・南部会館 ・八戸南部氏庭園	・八戸公園 ・白浜海水浴場 ・蕪島海水浴場 ・水産科学館マリエント ・長者まつりんぐ広場 ・山の楽校	・八菜館 ・道の駅なんごう ・朝もやの館 ・浜市場 みなととと	・八食センター ・市営魚菜小売市場 ・世増ダム(青葉湖) ・みなと体験学習館「みなっ知」 ・蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」 ・八戸ポータルミュージアム ・朝市文化、横丁文化	・八戸前沖さば ・八戸せんべい汁 ・南郷そば ・青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆笥、南部花形組子）
・歴史民俗資料館 ・アップルドーム「馬場のぼるの部屋」	・勤労青少年ホーム ・金洗沢公園 ・城山公園	・道の駅さんのへ ・SAN・SUN産直ひろば ・新鮮組	・「11ぴきのねこ」の石像 ・地域商社「㈱SANNOWA」 ・三戸望郷大橋 ・太子食品工業㈱ ・ひつつみ ・串もち	・ジョミ(ガマズミ) ・ミニふじ ・三戸田子牛 ・きんかもち ・三戸せんべい
・歴史みらいパーク ・ごのへ郷土館 ・石沢駒踊伝承館	・たんぼのゆっこ ・五戸まきば温泉 ・小渡平公園 ・牧内自然公園 ・ひばり野ダリア園 ・正子のチューリップ園	・ふれあい市ごのへ	・八戸酒類㈱五戸工場 ・㈱菊駒酒造 ・青森伝統工芸品（五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織） ・あおもり倉石牛 ・与助の牛	・馬肉料理 ・青森シャモロック ・五戸町応援キャラクター「ばおるくんとみらいちゃん」 ・五戸町 PR キャラクター「おんこちゃん」
・タブコピアンプラザ	・タブコブ創遊村 ・みろくの滝親水広場 ・大福山公園	・ガーリックセンター ・JA八戸田子ストア ・関所の茶屋 ・産直たっこや ・Takko Farmer's Market	・サンモールたっこ商店街 ・たっこにんにく ・田子牛 ・ガーリックステーキごはん ・「ジャッツ！タッコーラ」	・たっこにんにくイメージキャラクター「たっこ王子」 ・田子にんにく焼酎「どでん」 ・黒にんにく×赤ワイン「クロシユ」
・南部芸能伝承館 ・史跡聖寿寺館跡案内所 ・楽楽ホール	・名川チェリリン村 ・長谷ぼたん園 ・ふるさと森公園 ・バーデハウスふくち	・ふくちジャックドセンター ・名川チェリーセンター ・そばの里けやぐ ・なんぶふるさと物産館	・サクランボ ・南部町営地方卸売市場 ・いちようロード ・ゼネラル・レクラーク ・食用菊(阿房宮)	・南部達者米 ・南部太ねぎ ・南部町シンボルキャラクター「なべまる」
・民俗資料収集館	・ふるさと河川公園 ・階上岳つつじの森キャンプ場 ・ハートフルプラザはしかみ ・わっせ交流センター ・交流の森広場 ・アスナ公園 ・山館前公園	・道の駅はしかみ ・フォレストピア階上 ・はしかみハマの駅あるでい〜ば	・階上灯台、小舟渡園地 ・いちご煮 ・階上早生階上そば ・早生そば加工品(焼酎、ジェラート、そば味噌等) ・塩サイダー「どごさいだ〜ハマさいだ〜」 ・階上町シンボルキャラクター「はしかみキッズ」	
・キリストの里公園 伝承館 ・川代ものづくり学校	・間木ノ平グリーンパーク ・ウキウキランド(釣り堀) ・戸来岳 ・「鷲の湯」野沢温泉、新郷温泉館	・新郷村地場産品直売センター(道の駅しんごう) ・キリストつぷ	・㈱泉農場新郷醸造所(長いも焼酎) ・ミルク&ハム工房 ・有機資源センター新郷 ・銀の鴨 ・新郷ホワイトイルミネーション	
・大山将棋記念館 ・ネーチャーセンター 白鳥の家 ・おいらせ阿光坊古墳館 ・みなくる館	・しもだサーモンパーク ・下田公園キャンプ場 ・カワヨグリーン牧場 ・海浜公園 ・いちよう公園	・観光PRセンター「味祭館」 ・アグリノ里おいらせ ・おはよう広場 ・ファーマーズマルシェひとつぶ	・日本一の自由の女神像 ・向山駅ミュージアム ・桃川(㈱)(酒蔵) ・黒にんにく ・おいらせ町イメージキャラクター おいらくん	

3 圏域の結びつき

(1)総人口

図表 1-1 人口総数及び昼夜間人口比率

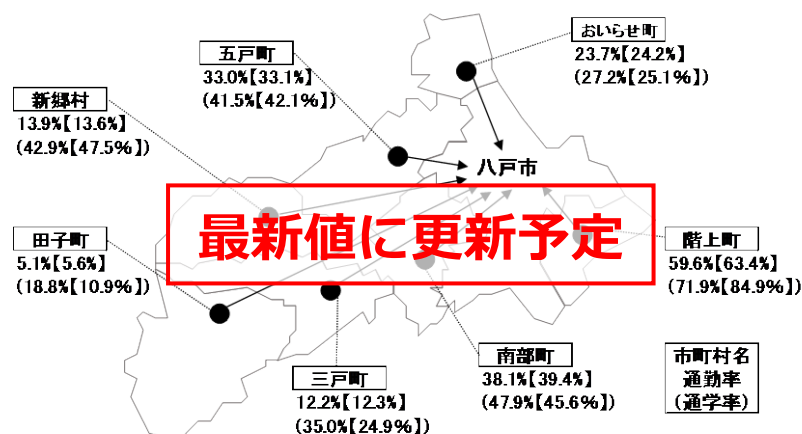
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
人口総数 (人)	231,257 【237,615】	10,135 【11,299】	17,433 【19,177】	5,554 【6,111】	18,312 【20,111】	14,025 【15,453】	2,509 【2,851】	24,222 【24,211】	323,447 【335,415】
昼夜間人口比率 (%)	104.6 【105.1】	98.6 【100.0】	90.3 【90.3】	97.8 【98.3】	84.6 【85.3】	75.5 【73.1】	93.3 【91.7】	84.8 【86.7】	—

注) 【】内は、平成22年国勢調査の数値

資料：国勢調査（総務省）

(2)通勤・通学圏

図表 1-2 八戸市への通勤・通学者状況(%)

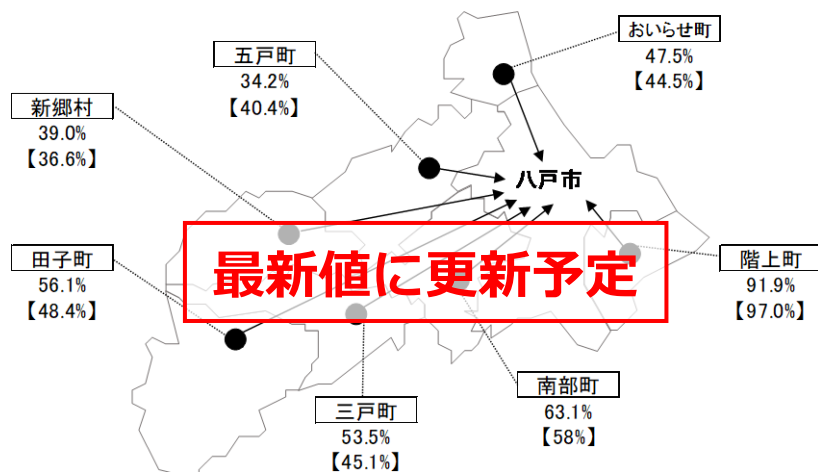


注) 【】内は、平成22年調査

資料：国勢調査（総務省）

(3)医療圏

図表 1-3 八戸市内病院への入院動向(%)



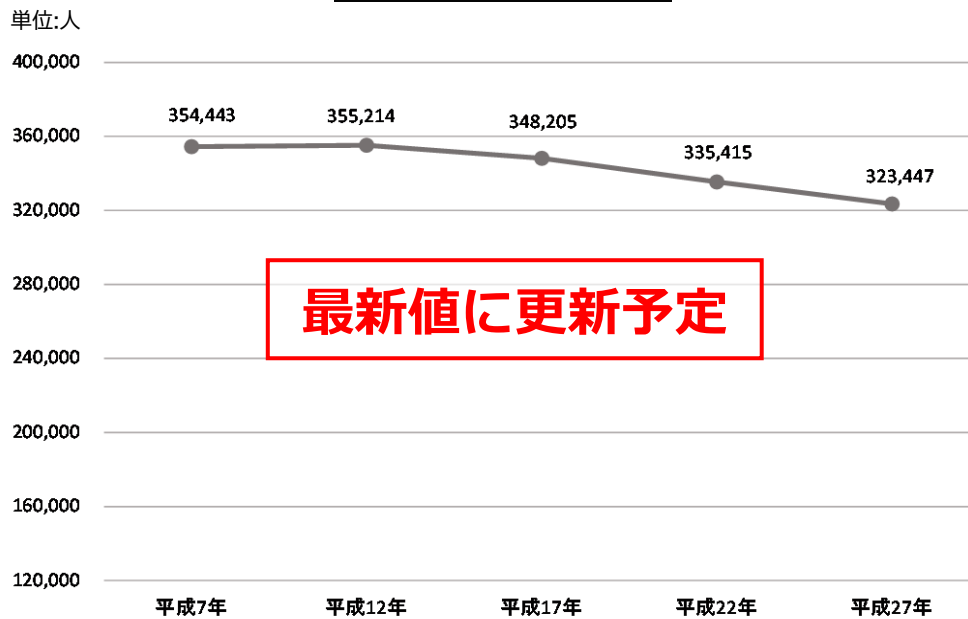
注) 【】内は、平成23年度調査

資料：青森県受療動向調査（青森県）

4 人口の動向

(1)人口推移

図表1-4 圏域人口の推移



図表1-5 構成市町村別 人口の推移

単位:人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		249,358	248,608 -0.3%	244,700 -1.6%	237,615 -2.9%	231,257 -2.7%	71.5%
三戸町		13,740	13,223 -3.8%	12,261 -7.3%	11,299 -7.8%	10,135 -10.3%	3.1%
五戸町		21,666	21,318 -1.6%	20,138 -5.5%	18,712 -7.1%	17,433 -6.8%	5.4%
田子町		7,681	7,288 -5.1%	6,883 -5.6%	6,175 -10.3%	5,554 -10.1%	1.7%
南部町		23,041	22,596 -1.9%	21,552 -4.6%	19,853 -7.9%	18,312 -7.8%	5.7%
階上町		14,428	15,618 8.2%	15,356 -1.7%	14,699 -4.3%	14,025 -4.6%	4.3%
新郷村		3,498	3,343 -4.4%	3,143 -6.0%	2,851 -9.3%	2,509 -12.0%	0.8%
おいらせ町		21,031	23,220 10.4%	24,172 4.1%	24,211 0.2%	24,222 0.0%	7.5%
圏域		354,443	355,214 0.2%	348,205 -2.0%	335,415 -3.7%	323,447 -3.6%	—

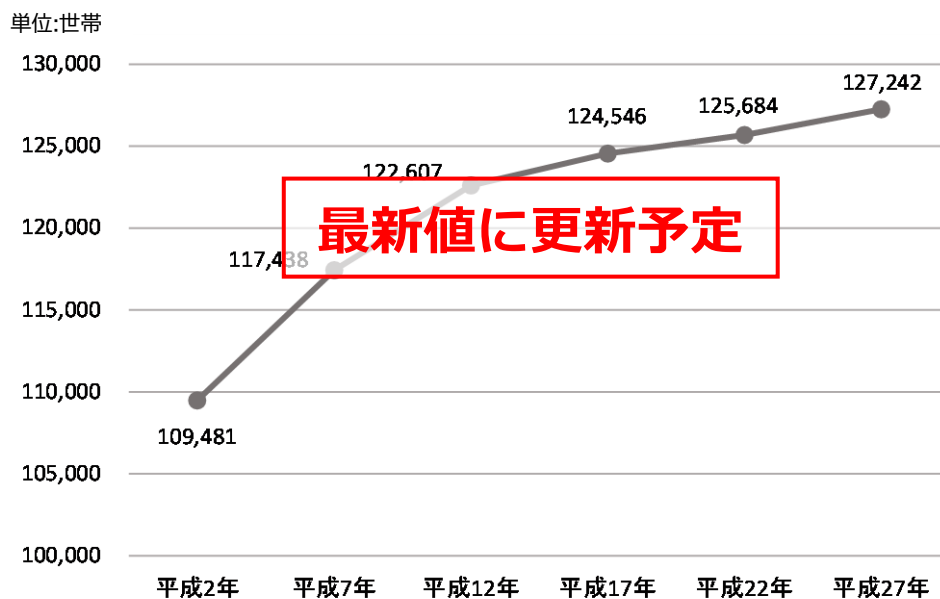
最新値に更新予定

注) 下段は対前期増加率

資料: 国勢調査(総務省)

(2)世帯数

図表1-6 圏域世帯数の推移



図表1-7 構成市町村別 世帯数の推移

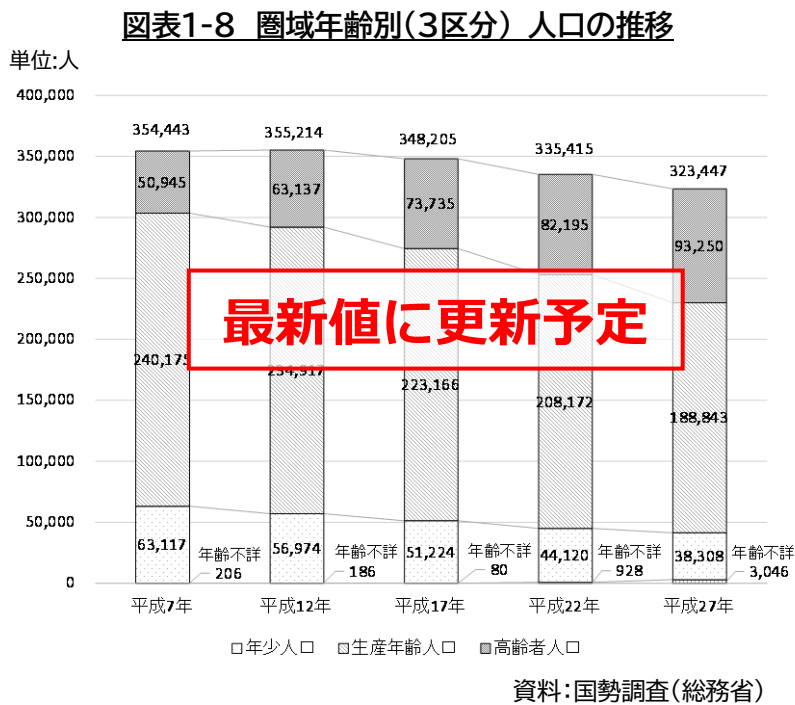
単位:人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		85,285	88,657 4.0%	90,308 1.9%	91,917 1.8%	93,750 2.0%	73.7%
三戸町		4,250	4,312 1.5%	4,145 -3.9%	3,961 -4.4%	3,756 -5.2%	3.0%
五戸町		6,189	6,268 1.3%	6,347 1.3%	6,177 -2.7%	6,123 -0.9%	4.8%
田子町		2,265	2,253 -0.5%	2,223 -1.3%	2,097 -5.8%	2,006 -4.3%	1.6%
南部町		6,683	6,851 2.5%	6,819 -0.5%	6,621 -2.9%	6,419 -3.1%	5.0%
階上町		5,577	5,951 6.7%	5,786 -2.8%	5,707 -1.4%	5,699 -0.1%	4.5%
新郷村		945	927 -1.9%	909 -1.9%	874 -3.9%	831 -4.9%	0.7%
おいらせ町		6,244	7,388 18.3%	8,009 8.4%	8,330 4.0%	8,658 3.9%	6.8%
圏域		117,438	122,607 4.4%	124,546 1.6%	125,684 0.9%	127,242 1.2%	—

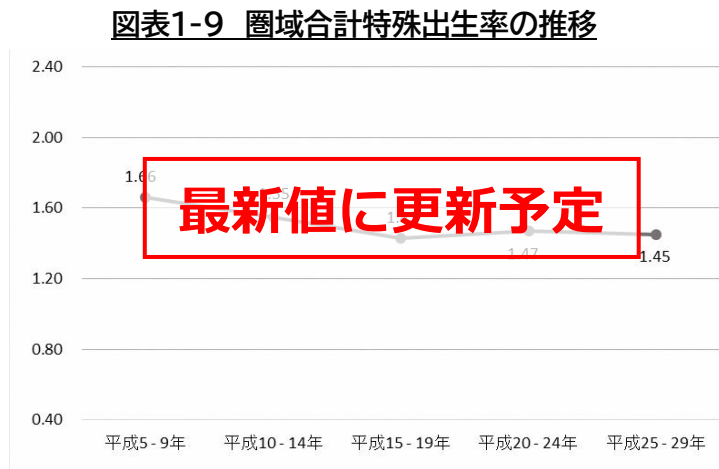
注) 下段は対前期増加率

資料: 国勢調査(総務省)

(3)年齢別(3区分)人口割合



(4)合計特殊出生率



図表1-10 構成市町村別 合計特殊出生率の推移

市町村	年	平成5 ～9年	平成10 ～14年	平成15 ～19年	平成20 ～24年	平成25 ～29年
八戸市		1.65	1.54	1.43	1.47	1.54
三戸町		1.73	1.57	1.49	1.48	1.38
五戸町		1.61	1.48	1.31	1.32	1.38
田子町		1.70	1.63	1.60	1.48	1.48
南部町		1.68	1.55	1.51	1.47	1.42
階上町		1.71	1.50	1.40	1.24	1.33
新郷村		1.72	1.64	1.48	1.39	1.48
おいらせ町		1.70	1.63	1.53	1.61	1.64
圏域		1.66	1.55	1.43	1.47	1.45
青森県		1.58	1.48	1.34	1.37	1.42
全国		1.46	1.38	1.31	1.38	1.43

資料:人口動態保健所・市町村別統計(厚生労働省)、各市町村

(5)人口動態(自然動態・社会動態)

図表1-11 人口動態(自然動態+社会動態)の推移

単位:人

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
市町村					
八戸市	-1,617	-1,730	-1,749	-2,315	-2,125
三戸町	-282	-251	-259	-263	-223
五戸町	-273	-261	-347	-333	-292
田子町	-125	-145	-145	-145	-143
南部町	-227	-356	-362	-334	-407
階上町	-109	-129	-144	-127	-202
新郷村	-82	-14	-71	-80	-64
おいらせ町	-30	196	-82	-73	48
圏域	-2,797	-2,674	-3,192	-3,670	-3,408

図表1-12 自然動態の推移

単位:人

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
市町村					
八戸市	-859	-847	-1071	-1,150	-1,370
三戸町	-122	-161	-158	-173	-145
五戸町	-168	-179	-212	-198	-219
田子町	-100	-75	-121	-95	-92
南部町	-101	-158	-158	-158	-297
階上町	-63	-82	-98	-103	-102
新郷村	-34	-23	-34	-63	-31
おいらせ町	-88	-12	-79	-92	-78
圏域	-1,619	-1,597	-2,010	-2,132	-2,334

図表1-13 社会動態の推移

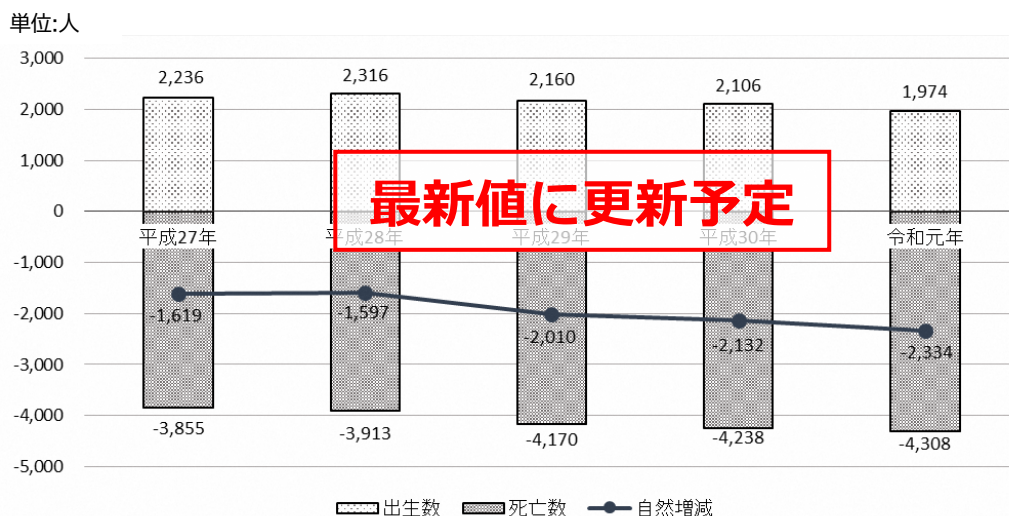
単位:人

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
市町村					
八戸市	-758	-883	-678	-1,165	-755
三戸町	-160	-90	-101	-90	-78
五戸町	-105	-92	-135	-135	-73
田子町	-77	-54	-57	-50	-51
南部町	-103	-103	-103	-76	-110
階上町	-40	-47	-46	-24	-100
新郷村	-48	9	-37	-17	-33
おいらせ町	58	208	-3	19	126
圏域	-1,178	-1,077	-1,182	-1,538	-1,074

資料:青森県人口移動統計調査(青森県)

(6)自然動態(出生及び死亡)

図表1-14 圏域自然動態(出生数及び死亡数)の推移



図表1-15 構成市町村別 自然動態(出生数及び死亡数)の推移

単位:人

市町村		年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市	出生数		1,716	1,760	1,660	1,615	1,482
	死亡数		2,575	2,607	2,731	2,765	2,852
	自然増減		-859	-847	-1,071	-1,150	-1,370
三戸町	出生数		46	40	45	38	35
	死亡数		168	201	203	211	180
	自然増減		-122	-161	-158	-173	-145
五戸町	出生数		81	85	81	74	83
	死亡数		249	264	293	272	302
	自然増減		-168	-179	-212	-198	-219
田子町	出生数		23	29	20	21	27
	死亡数		123	104	141	116	119
	自然増減		-100	-75	-121	-95	-92
南部町	出生数		286	304	330	88	66
	死亡数		286	304	330	346	363
	自然増減		-179	-218	-237	-258	-297
階上町	出生数		71	78	65	76	67
	死亡数		140	160	163	179	169
	自然増減		-69	-82	-98	-103	-102
新郷村	出生数		8	11	13	5	8
	死亡数		42	34	47	68	39
	自然増減		-34	-23	-34	-63	-31
おいらせ町	出生数		184	227	183	189	206
	死亡数		272	239	262	281	284
	自然増減		-88	-12	-79	-92	-78
圏域	出生数		2,236	2,316	2,160	2,106	1,974
	死亡数		3,855	3,913	4,170	4,238	4,308
	自然増減		-1,619	-1,597	-2,010	-2,132	-2,334

最新値に更新予定

資料:青森県人口移動統計調査(青森県)

(7)社会動態(転入及び転出)

図表1-16 圏域社会動態(転入数及び転出数)の推移

**新規作成予定
(グラフ)**

図表1-17 構成市町村別 社会動態(転入数及び転出数)の推移

**新規作成予定
(表)**

資料:青森県人口移動統計調査(青森県)

(8)人口移動

図表1-18 圏域の年齢階級別 純移動数(転入－転出)の推移

**新規作成予定
(グラフ)**

図表1-19 転入数・転出数の上位地域、県外への転出人口の割合

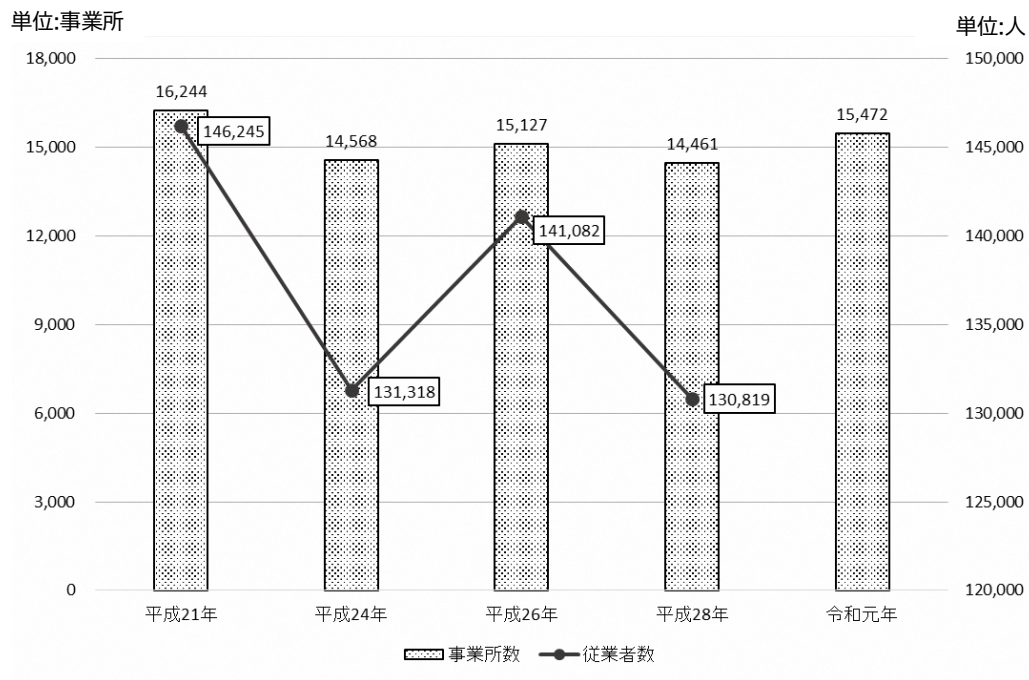
**新規作成予定
(グラフ)**

資料:青森県人口移動統計調査(青森県)

5 産業の動向

(1)事業所数・従業者数

図表1-20 圏域事業所数・従業者数の推移



図表1-21 構成市町村別 事業所数の推移

単位:事業所

市町村	年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市		12,326 4.1%	11,290 -8.4%	11,641 3.1%	11,225 -3.6%	11,958 6.5%	77.3%
三戸町		525 -0.4%	417 -20.6%	442 6.0%	403 -8.8%	441 9.4%	2.9%
五戸町		731 1.5%	608 -16.8%	633 4.1%	604 -4.6%	622 2.9%	4.0%
田子町		306 -3.2%	266 -13.1%	279 4.9%	254 -9.0%	261 2.7%	1.7%
南部町		799 -7.8%	624 -21.9%	689 10.4%	613 -11.0%	663 8.1%	4.3%
階上町		452 6.6%	386 -14.6%	405 4.9%	388 -4.2%	459 18.3%	3.0%
新郷村		135 3.1%	103 -23.7%	113 9.7%	99 -12.4%	101 2.0%	0.7%
おいらせ町		970 1.6%	874 -9.9%	925 5.8%	875 -5.4%	967 10.5%	6.3%
圏域		16,244 3.0%	14,568 -10.3%	15,127 3.8%	14,461 -4.4%	15,472 6.9%	—

資料:事業所・企業統計調査、経済センサス(総務省)

図表 1-22 構成市町村別 従業者数の推移

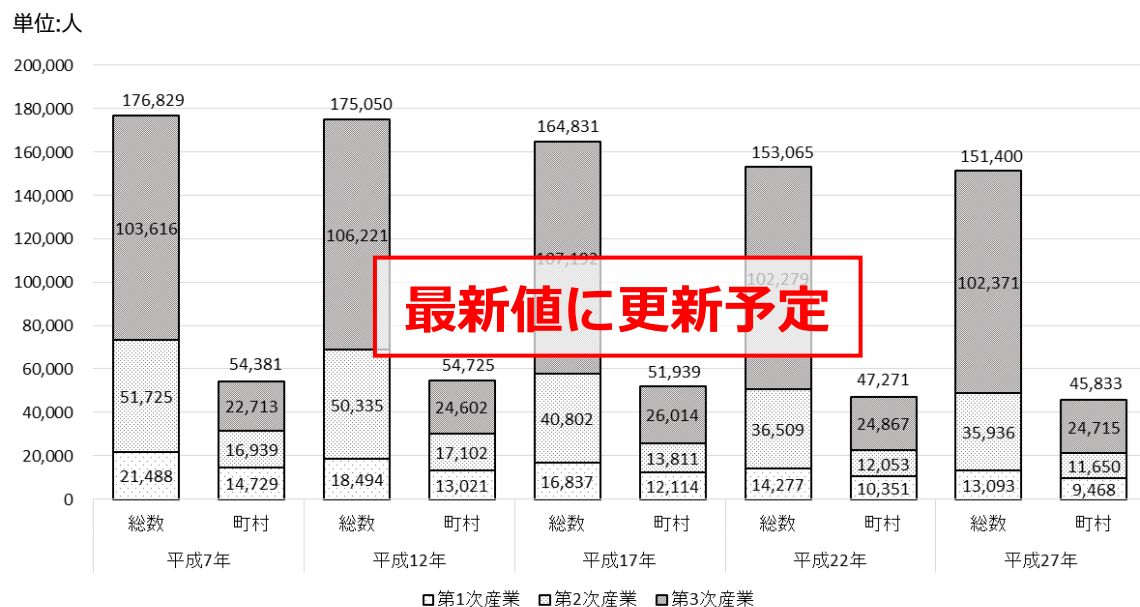
単位:事業所

市町村	年	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		104,729	115,453 10.2%	104,520 -9.5%	112,283 7.4%	104,728 -6.7%	80.0%
三戸町		4,159	4,125 -0.8%	3,259 -21.0%	3,555 9.1%	3,164 -11.0%	2.4%
五戸町		6,101	6,116 0.2%	5,199 -15.0%	5,603 7.8%	5,186 -7.4%	4.0%
田子町		2,273	2,262 -0.5%	1,967 -13.0%	2,063 4.9%	1,821 -11.7%	1.4%
南部町		5,392	4,918 -8.8%	4,254 -13.5%	4,781 12.4%	4,044 -15.4%	3.1%
階上町		3,286	3,676 11.9%	3,261 -11.3%	3,476 6.6%	3,101 -10.8%	2.4%
新郷村		769	702 -8.7%	655 -6.7%	771 17.7%	604 -21.7%	0.5%
おいらせ町		8,811	8,993 2.1%	8,203 -8.8%	8,550 4.2%	8,171 -4.4%	6.2%
圏域		135,520	146,245 7.9%	131,318 -10.2%	141,082 7.4%	130,819 -7.3%	—

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス（総務省）

(2)産業 3 区分別就業者数

図表1-23 圏域産業3区分別 就業者数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表1-24 構成市町村別 第1次産業就業者数及び就業割合の推移

単位:人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27ー平成7 (単位:ポイント)
八戸市		6,759	5,473	4,723	3,926	3,625	-3,134
		5.5%	4.5%	4.2%	3.6%	3.4%	-2.1%
三戸町		2,376	2,163	1,984	1,709	1,582	-794
		32.7%	30.8%	32.3%	31.7%	30.9%	-1.8%
五戸町		3,066	2,742	2,546	2,117	2,069	-997
		26.3%	24.1%	24.4%	22.7%	22.9%	-3.4%
田子町		1,765	1,629	1,494	1,254	1,098	-667
		40.5%	39.3%	39.5%	38.4%	36.6%	-3.9%
南部町		3,783	3,226	3,003	2,605	2,355	-1,428
		31.1%	27.7%	27.5%	26.7%	25.1%	-6.0%
階上町		1,000	827	793	647	563	-437
		16.8%	12.3%	11.6%	9.8%	8.7%	-8.1%
新郷村		967	971	893	811	682	-285
		47.4%	48.6%	48.4%	49.8%	48.5%	1.1%
おいらせ町		1,772	1,463	1,401	1,208	1,119	-635
		16.2%	12.4%	11.6%	10.2%	9.3%	-6.9%
圏域		21,488	18,494	16,837	14,277	13,093	-8,395
		12.2%	10.5%	10.2%	9.1%	8.5%	-3.7%

注)下段は総就業者に占める第1次産業就業者の割合

図表1-25 構成市町村別 第2次産業就業者数及び就業割合の推移

単位:人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27ー平成7 (単位:ポイント)
八戸市		34,786	33,233	26,991	24,456	24,286	-10,500
		28.4%	27.5%	23.8%	22.6%	22.5%	-5.9%
三戸町		1,795	1,769	1,315	1,047	968	-827
		24.7%	25.2%	21.3%	19.4%	18.9%	-5.8%
五戸町		3,833	3,693	2,950	2,506	2,344	-1,489
		32.8%	32.5%	28.2%	26.9%	25.9%	-6.9%
田子町		1,095	1,052	870	711	708	-387
		25.1%	25.4%	23.0%	21.8%	23.6%	-1.5%
南部町		3,469	3,294	2,559	2,099	2,039	-1,430
		28.5%	28.3%	23.5%	21.5%	21.8%	-6.7%
階上町		2,145	2,529	2,132	1,974	1,961	-184
		36.1%	37.6%	31.2%	29.9%	30.3%	-5.8%
新郷村		433	390	319	281	243	-190
		21.2%	19.5%	17.3%	17.2%	17.3%	-3.9%
おいらせ町		4,169	4,375	3,666	3,435	3,387	-782
		38.1%	37.0%	30.3%	29.0%	28.1%	-10.0%
圏域		51,725	50,335	40,802	36,509	35,936	-15,789
		29.2%	28.7%	24.7%	23.4%	23.3%	-5.9%

注)下段は総就業者に占める第2次産業就業者の割合

資料:国勢調査(総務省)

図表1-26 構成市町村別 第3次産業就業者数及び就業割合の推移

単位:人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27ー平成7 (単位:ポイント)
八戸市		80,903	81,619	81,178	77,412	77,656	-3,247
		66.1%	68.0%	71.6%	71.4%	71.9%	5.8%
三戸町		3,104	3,082	2,862	2,620	2,517	-587
		42.7%	43.9%	46.4%	48.6%	49.2%	6.5%
五戸町		4,771	4,940	4,953	4,672	4,594	-177
		40.9%	43.4%	47.4%	50.2%	50.8%	9.9%
田子町		1,494	1,460	1,414	1,298	1,186	-308
		34.3%	35.3%	37.4%	39.8%	39.6%	5.3%
南部町		4,914	5,127	5,326	4,979	4,915	1
		40.4%	44.0%	48.8%	51.0%	52.5%	12.1%
階上町		2,803	3,356	3,845	3,755	3,818	1,015
		47.1%	50.1%	56.3%	56.8%	58.9%	11.8%
新郷村		640	636	630	535	481	-159
		31.4%	31.9%	34.1%	32.8%	34.2%	2.8%
おいらせ町		4,987	6,001	6,984	7,008	7,204	2,217
		45.6%	50.7%	57.8%	59.2%	59.7%	14.1%
圏域		103,616	106,221	107,192	102,279	102,371	-1,245
		58.6%	60.8%	64.8%	65.5%	66.3%	7.7%

注) 下段は総就業者に占める第3次産業就業者割合

資料: 国勢調査(総務省)

(3) 産業大分類別に見た事業所数、従業者数、付加価値額

図表1-27 圏域の産業大分類別に見た事業所数、従業者数、付加価値額

**新規作成予定
(散布図)**

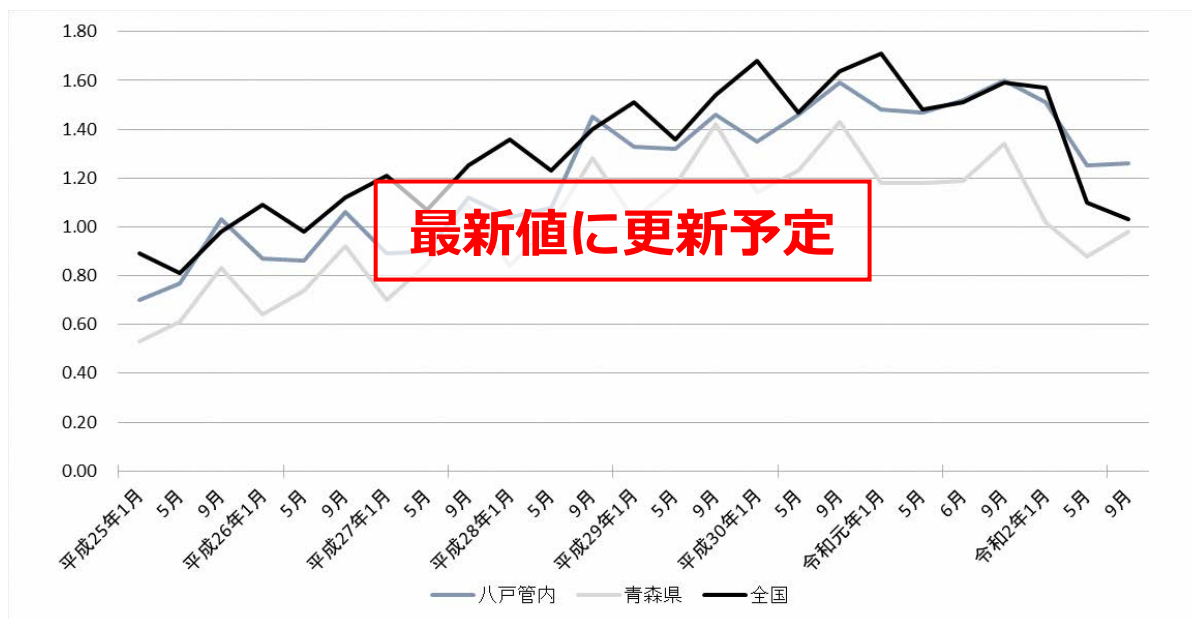
図表1-28 構成市町村別の産業大分類別に見た事業所数、従業者数、付加価値額

**新規作成予定
(表)**

資料: 経済センサス 活動調査(総務省)

(4)有効求人倍率

図表1-29 有効求人倍率の推移



資料：八戸公共職業安定所、青森労働局職業安定部、
厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」より作成

(5)農業産出額

図表1-30 圏域農業産出額

**新規作成予定
(グラフ)**

図表1-31 構成市町村別 農業産出額

**新規作成予定
(表)**

資料：生産農業所得統計・被災市町村別農業産出額(農林水産省)
あおりポテンシャルビュー(青森県)

(6)構成市町村別 農業産出額

図表1-32 構成市町村別 農業産出額(耕種・畜産・加工農産物)の推移

単位:百万円

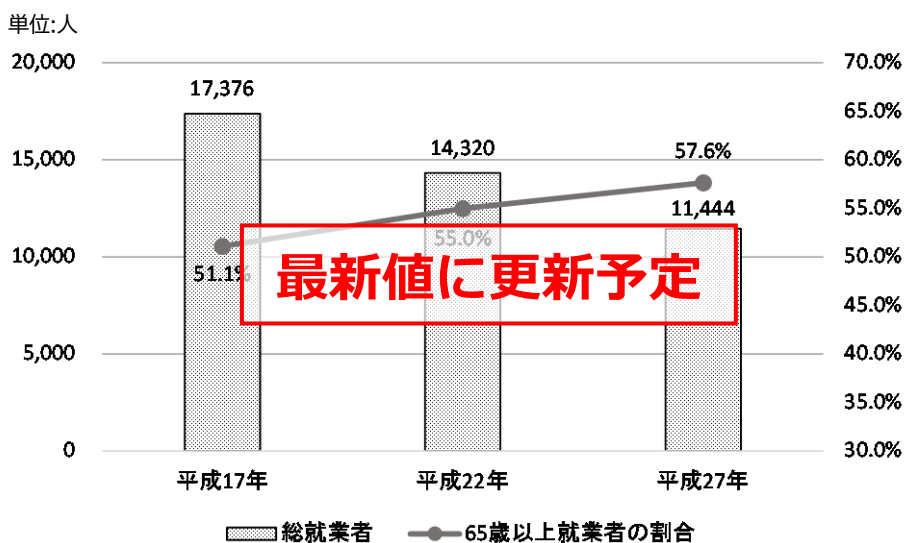
市町村	年	平成16年	平成17年	平成18年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
八戸市		7,400	6,280 -15.1%	6,440 2.5%	6,060 4.8%	5,850 -3.5%	5,030 -14.0%	4,660 -7.4%	4,970 6.7%	4,810 -3.2%	5,020 4.4%
三戸町		5,700	4,730 -17.0%	4,840 2.3%	—	—	—	4,360	4,340 -0.5%	4,200 -3.2%	4,320 2.9%
五戸町		7,310	5,950 -18.6%	5,950 0.0%	—	—	—	6,230	7,070 13.5%	6,900 -2.4%	7,020 1.7%
田子町		3,320	2,970 -10.5%	3,050 2.7%	—	—	—	2,570	2,650 3.1%	2,580 -2.6%	2,610 1.2%
南部町		9,460	7,640 -19.2%	7,880 3.1%	—	—	—	6,780	7,420 9.4%	7,140 -3.8%	7,440 4.2%
階上町		1,120	860 -23.2%	860 0.0%	—	—	—	450	490 8.9%	460 -6.1%	490 6.5%
新郷村		3,090	2,530 -18.1%	2,430 -4.0%	—	—	—	1,910	2,090 9.4%	1,940 -7.2%	2,000 3.1%
おいらせ町		5,630	4,430 -21.3%	5,390 21.7%	4,670 -7.5%	5,220 11.8%	4,490 -14.0%	5,930 32.1%	6,980 17.7%	5,440 -22.1%	6,340 16.5%
圏域		43,030	35,390 -17.8%	36,840 4.1%	—	—	—	32,890	36,010 9.5%	33,470 -7.1%	35,240 5.3%
青森県		226,410	208,550 -7.9%	217,970 4.5%	199,800 -1.5%	201,900 1.1%	199,800 -1.0%	215,740 8.0%	230,280 6.7%	218,770 -5.0%	231,680 5.9%

最新値に更新予定

資料:生産農業所得統計・被災市町村別農業産出額(農林水産省)
あおりポテンシャルビュー(青森県)

(7)農業就業者数と高齢化の状況

図表1-33 圏域農業総就業者数と65歳以上の農業就業者割合の推移



資料:農林業センサス農林業経営体調査結果(青森県)

図表1-34 構成市町村別 販売農家における65歳以上の農業就業者数と割合の推移

単位:人

区分	総就業者			65歳以上就業者			65歳以上就業者の割合		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
八戸市	4,205	3,308	2,557	2,221	1,925	1,623	52.8%	58.2%	63.5%
三戸町	2,017	1,779	1,436	879	796	646	43.6%	44.7%	45.0%
五戸町	3,123	2,582	2,105	1,680	1,524	1,309	53.8%	59.5%	62.2%
田子町	1,497	1,283	1,071	771	655	555	52.2%	51.5%	55.2%
南部町	3,313	2,804	2,297	1,627	1,472	1,272	49.1%	52.5%	55.4%
階上町	494	405	319	310	271	209	62.8%	66.9%	65.5%
新郷村	1,102	938	735	569	535	426	51.6%	57.0%	58.0%
おいらせ町	1,625	1,261	975	811	698	548	49.9%	55.4%	56.2%
圏域	17,376	14,320	11,444	8,878	7,872	6,596	51.1%	55.0%	57.6%

最新値に更新予定

資料:農林業センサス農林業経営体調査結果(青森県)

(8)耕地面積

図表 1-35 圏域耕地面積の推移

新規作成予定
(グラフ)

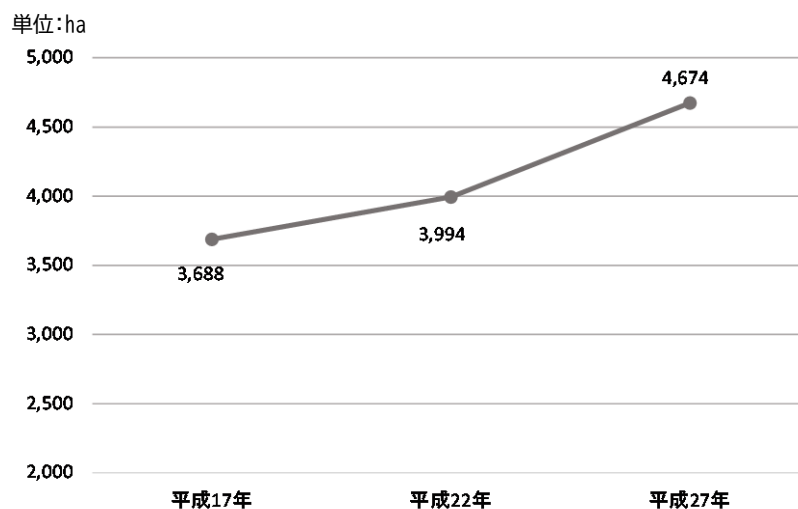
図表1-36 構成市町村別 耕地面積の推移

新規作成予定
(表)

資料:農林業センサス(農林水産省)

(9)耕作放棄地

図表1-37 圏域耕作放棄地の発生状況の推移



資料:農林業センサス(農林水産省)

図表1-38 構成市町村別 耕作放棄地の発生状況の推移

単位:ha

市町村	年	平成17年	平成22年	平成27年	増減率 (平成27年/17年)
八戸市		1,199	1,305	1,465	22.2%
三戸町		176	248	211	19.9%
五戸町		562	637	826	47.0%
田子町		165	183	317	92.1%
南部町		486	567	654	34.6%
階上町		461	413	432	-6.3%
新郷村		157	151	224	42.7%
おいらせ町		482	490	545	13.1%
圏域		3,688	3,994	4,674	26.7%

資料:農林業センサス(農林水産省)

(10)林業総収入

図表1-39 圏域林業総収入の推移

**新規作成予定
(グラフ)**

図表1-40 構成市町村別 林業総収入の推移

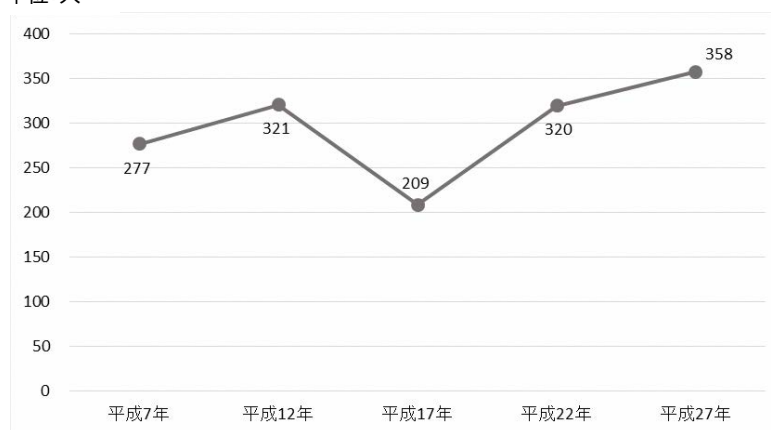
**新規作成予定
(表)**

資料:農林業センサス(農林水産省)

(11)林業就業者数

図表1-41 圏域林業就業者数の推移

単位:人



資料:国勢調査(総務省)

図表1-42 構成市町村別 林業就業者数の推移

単位:人

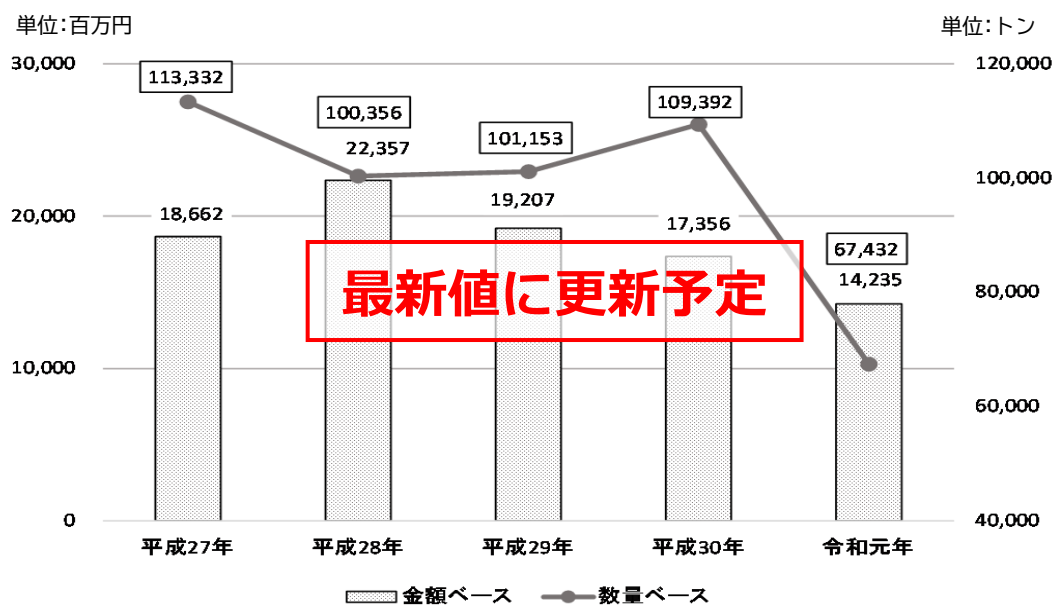
市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		30	36 20.0%	22 -38.9%	53 140.9%	91 71.7%	25.4%
三戸町		27	37 37.0%	22 -40.5%	36 63.6%	42 16.7%	11.7%
五戸町		23	28 21.7%	30 7.1%	32 6.7%	38 18.8%	10.6%
田子町		133	129 -3.0%	77 -40.3%	94 22.1%	88 -6.4%	24.6%
南部町		24	37 54.2%	30 -18.9%	34 13.3%	29 -14.7%	8.1%
階上町		9	8 -11.1%	7 -12.5%	34 385.7%	25 -26.5%	7.0%
新郷村		27	45 66.7%	20 -55.6%	34 70.0%	30 -11.8%	8.4%
おいらせ町		4	1 -75.0%	1 0.0%	3 200.0%	15 400.0%	4.2%
圏域		277	321 15.9%	209 -34.9%	320 53.1%	358 11.9%	—

注) 下段は対前年増加率

資料: 国勢調査(総務省)

(12) 水揚げ高(数量・金額ベース)

図表1-43 圏域水揚げ高の推移(数量・金額ベース)



資料: 青森県海面漁業に関する調査(青森県)

図表1-44 構成市町村別 水揚げ高(数量・金額ベース)の推移

単位:トン

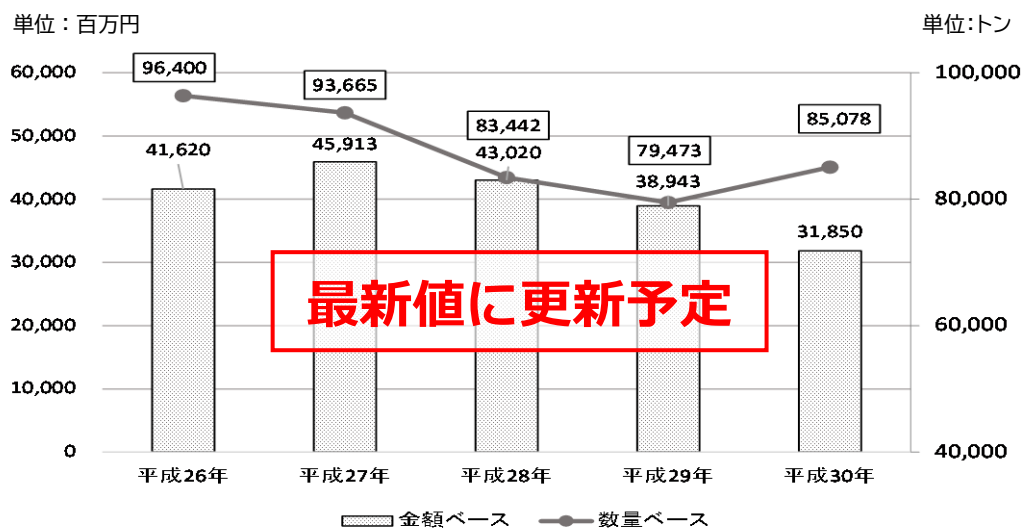
市町村	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市		111,419	98,785 -11.3%	99,519 0.7%	108,017 8.5%	66,011 -38.9%	97.9%
階上町		1,123	814 -27.5%	924 13.3%	797 -14.3%	799 13.0%	1.2%
おいらせ町		789	657 -16.7%	700 6.5%	668 -4.6%	621 -7.0%	0.9%
圏域		113,331	100,356 -11.4%	101,153 0.8%	109,392 8.1%	67,431 -38.4%	—

最新値に更新予定

資料:青森県海面漁業に関する調査(青森県)

(13)水産加工品生産高

図表1-45 八戸市水産加工品生産高(数量・金額ベース)の推移



資料:八戸市水産事務所資料

(14)漁業就業者数

図表1-46 圏域漁業就業者数の推移

新規作成予定
(グラフ)

資料:漁業センサス(農林水産省)

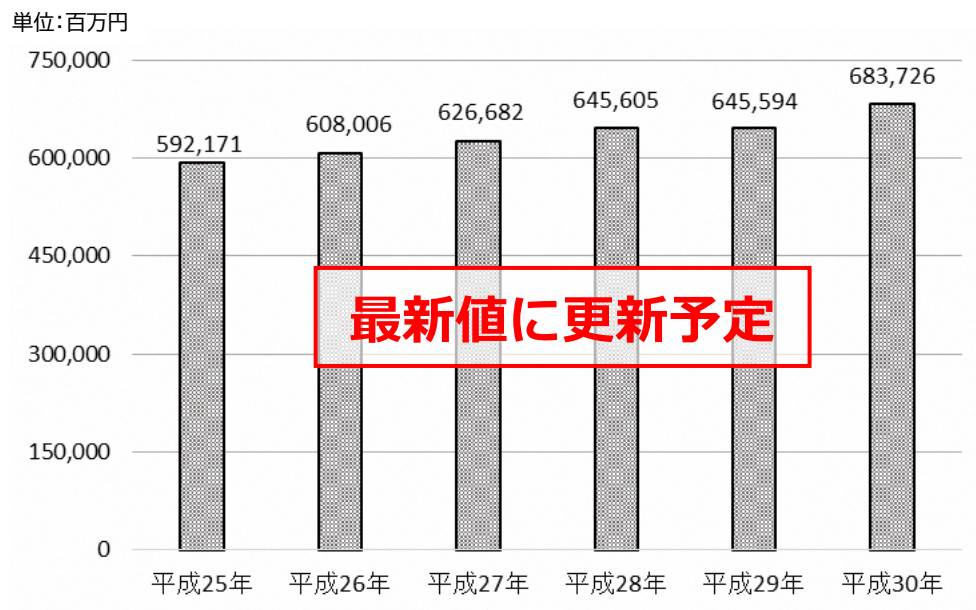
図表1-47 構成市町村別 漁業就業者数の推移

**新規作成予定
(表)**

資料:漁業センサス(農林水産省)

(15)製造品出荷額等

図表1-48 圏域製造品出荷額等の推移



図表1-49 構成市町村別 製造品出荷額等の推移

単位:百万円

市町村	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	圏域内構成比 (平成30年)
八戸市		511,984	490,685 -4.2%	501,558 2.2%	512,701 2.2%	538,099 5.0%	534,135 -0.7%	569,086 6.5%	83.2%
三戸町		5,347	16,856 215.2%	13,589 -19.4%	13,035 -4.1%	14,328 9.9%	14,612 2.0%	14,079 -3.6%	2.1%
五戸町		18,396	18,073 -1.8%	18,966 4.9%	23,554 24.2%	23,215 -1.4%	23,782 2.4%	21,944 -7.7%	3.2%
田子町		8,907	8,988 0.9%	10,544 16.4%	11,591 17.8%	11,299 -2.4%	11,299 0.0%	11,258 -0.4%	1.6%
南部町		10,559	12,508 18.5%	16,654 33.1%	15,359 -7.8%	12,670 -17.5%	13,404 5.8%	13,825 3.1%	2.0%
階上町		10,307	10,572 2.6%	11,217 6.1%	12,244 9.2%	7,997 -34.7%	8,617 7.8%	7,861 -8.8%	1.1%
新郷村		X	X	X	X	X	X	X	-
おいらせ町		33,497	34,489 3.0%	36,100 4.7%	38,098 5.5%	37,652 -1.2%	38,815 3.1%	45,673 17.7%	6.7%
圏域		598,997	592,171 -1.1%	608,006 2.7%	626,682 3.1%	645,605 3.0%	645,594 0.0%	683,726 5.9%	-

資料:工業統計調査、経済センサス活動調査-産業別集計(製造業)(総務省)

(16)製造業従業者

図表1-50 圏域製造業従業者数の推移

**新規作成予定
(グラフ)**

図表1-51 構成市町村別 製造業従業者数の推移

**新規作成予定
(表)**

資料：工業統計調査、経済センサス活動調査-産業別集計（製造業）（総務省）

(17)工業団地

図表1-52 構成市町村別 工業団地数・企業数

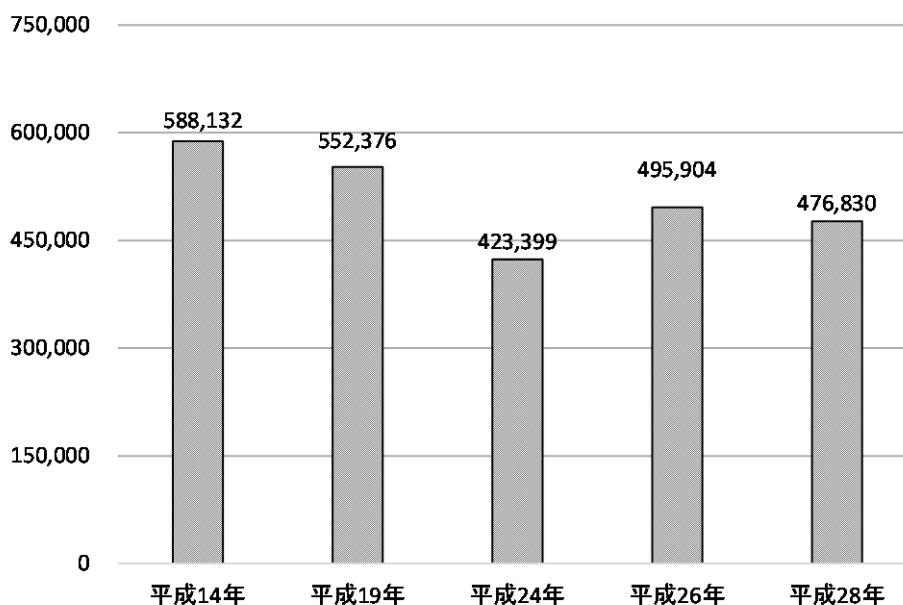
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
工業団地数	8	2	3	0	2	2	0	1	18
面積(ha)	389.5	9.0	4.7	0.5	7.7	0	0	23.2	491.6
企業数	204	2	19	0	6	2	0	18	251

資料：青森県工業団地一覧表（青森県）

(18)卸売販売額

図表1-53 圏域卸売販売額の推移

単位:百万円



図表1-54 構成市町村別 卸売販売額の推移

単位:百万円

市町村	年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		557,071	524,095 -5.9%	403,847 -22.9%	475,276 17.7%	451,875 -4.9%	94.8%
三戸町		9,097	6,955 -23.5%	3,073 -55.8%	3,108 1.1%	3,529 13.5%	0.7%
五戸町		1,877	2,318 23.5%	1,971 -15.0%	2,409 22.0%	2,465 2.3%	0.5%
田子町		739	1,046 41.5%	X —	X —	234 —	0.0%
南部町		6,795	5,551 -18.3%	5,111 -7.9%	4,464 -12.7%	5,741 28.6%	1.2%
階上町		4,178	5,394 29.1%	2,311 -57.2%	2,644 14.4%	795 -69.9%	0.2%
新郷村		179	192 7.3%	— —	— —	— —	—
おいらせ町		8,196	6,825 -16.7%	7,086 3.8%	8,003 12.9%	12,191 52.3%	2.6%
圏域		588,132	552,376 -6.1%	423,399 -23.3%	495,904 17.1%	476,830 -3.8%	—

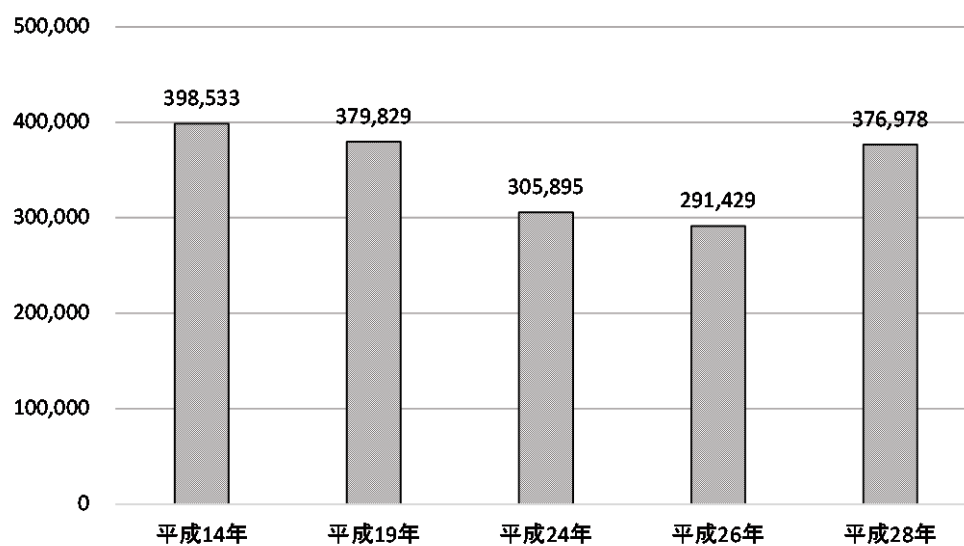
注) 下段は対前期増加率

資料:商業統計調査(経済産業省)、経済センサス(総務省)

(19)小売販売額

図表1-55 圏域小売販売額の推移

単位:百万円



図表1-56 構成市町村別 小売販売額の推移

単位:百万円

市町村	年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		316,265	301,325 -4.7%	246,633 -18.2%	230,709 -6.5%	299,093 29.6%	79.3%
三戸町		13,032	11,650 -10.6%	9,481 -18.6%	9,728 2.6%	10,146 4.3%	2.7%
五戸町		9,853	10,743 9.0%	8,573 -20.2%	12,178 42.0%	14,605 19.9%	3.9%
田子町		5,710	4,540 -20.5%	X —	X —	3,580 —	0.9%
南部町		14,052	10,245 -27.1%	10,072 -1.7%	8,883 -11.8%	9,322 4.9%	2.5%
階上町		5,533	7,320 32.3%	6,373 -12.9%	4,796 -24.7%	7,040 46.8%	1.9%
新郷村		1,125	1,492 32.6%	1,257 -15.8%	1,315 4.6%	1,886 43.4%	0.5%
おいらせ町		32,963	32,514 -1.4%	23,506 -27.7%	23,820 1.3%	31,306 31.4%	8.3%
圏域		398,533	379,829 -4.7%	305,895 -19.5%	291,429 -4.7%	376,978 29.4%	—

注) 下段は対前期増加率

資料: 商業統計調査(経済産業省)、経済センサス(総務省)

(20)大規模小売店舗数

図表1-57 圏域大規模小売店舗数の推移

新規作成予定
(グラフ)

図表1-58 構成市町村別 大規模小売店舗数の推移

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	陸奥町	新郷村	おいらせ町	圏域
大規模小売店舗数	63	最新値に更新予定					0	10	87

図表1-59 圏域の大規模小売店舗一覧

大規模小売店舗	・ピアドウ	(店舗面積: 23,222㎡)	・さくら野百貨店	(店舗面積: 15,227㎡)
	・ラピア	(店舗面積: 14,005㎡)	・シンフォニープラザ沼館	(店舗面積: 12,195㎡)
	・三春屋店	(店舗面積: 15,584㎡)		

資料:青森県内の大規模小売店舗一覧(青森県)

(21)観光入込客数

図表1-60 圏域観光入込客数の推移



資料:青森県観光入込客統計(青森県)

図表1-61 構成市町村別 観光入込客数の推移

単位:千人

市町村 \ 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
八戸市	6,876 1.7%	6,986 1.6%	6,681 -4.4%	6,648 -0.5%	6,394 -3.8%	6,632 3.7%
三戸町	300 -7.8%	346 15.6%	364 5.1%	369 1.5%	303 -18.0%	547 80.8%
五戸町	148 -5.8%	131 -10.9%	121 -7.9%	142 17.4%	138 -2.7%	149 7.5%
田子町	34 5.5%	48 41.3%	48 -1.5%	48 0.8%	45 -7.1%	44 -0.9%
南部町	682 -1.1%	735 7.8%	735 0.3%	742 0.5%	725 -2.3%	696 -3.9%
階上町	385 0.1%	445 15.4%	524 17.7%	493 -5.9%	713 44.8%	748 4.9%
新郷村	152 -5.5%	153 0.4%	145 -4.8%	139 -4.4%	139 -0.2%	159 14.9%
おいらせ町	676 -0.3%	671 -0.7%	667 -0.6%	635 -4.8%	663 4.3%	629 -5.0%
圏域	9,253 0.7%	9,517 2.9%	9,288 -2.4%	9,216 -0.8%	9,119 -1.0%	9,605 5.3%

注)下段は対前年増加率

資料:青森県観光入込客統計(青森県)

6 都市機能・生活機能の状況

(1)病院・診療所

図表1-62 構成市町村別 病院・診療所数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
病院数	21	1	0	0	0	0	0	2	27
診療所数	142	2	5	2	5	2	1	8	167

資料：地域医療情報システム(JMAP)(日本医師会)

図表1-63 自治体病院・診療所の概要及び指定病院の状況

分類	名称	診療科名
病院	八戸市立市民病院	消化器科、消化器内視鏡科、化学療法科、呼吸器科、循環器科、腎臓内科、内分泌糖尿病科、神経内科、小児科、外科、小児外科、形成外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、婦人科内視鏡外科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和医療科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科(救命救急センター)、総合診療科
	三戸中央病院	内科、婦人科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、脳神経外科、脊椎・脊髄神経外科、神経内科、メンタルヘルス科、禁煙外来
	五戸総合病院	内科、外科、小児科、整形外科、皮膚科、脳神経外科、皮膚科
	南部町医療センター	内科、外科、循環器内科、小児科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、アレルギー科、肛門外科、眼科
	おいらせ病院	内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、脳神経外科
診療所	八戸市休日夜間急病診療所	内科、外科系、小児科
	南郷診療所	内科、歯科
	川内診療所	内科、外科
	倉石診療所	内科、小児科、胃腸内科、皮膚科
	田子診療所	内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科
	新郷診療所	内科

資料：青森県、各市町村

(2)自治体病院医師充足率の状況

図表1-64 自治体病院医師充足率の状況

病院名	許可病床数	標榜診療 科目数	医師数	医師充足率	
				医療法上	施設運営上
八戸市立市民病院	608	26	122.0	239.0	60.0
三戸中央病院					60.0
五戸総合病院	165	9	12.2	107.7	58.8
南部町医療センター	66	10	8.9	100.9	57.1
おいらせ病院	78	6	6.4	97.2	71.4

資料：市町村立病院経営便覧（青森県）

(3)福祉施設

図表1-65 構成市町村別 福祉施設の立地状況

区分		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
児童 福祉関係	保育所等	81	3	5	2	3	4	1	13	112
	児童館	15	2	0	0	1	0	0	2	20
障害者 福祉関係	障害者支援施設	7	0	2	0	1	0	0	1	11
	地域活動支援センター	3	1	0	0	0	0	0	0	4
高齢者 福祉関係	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特別養護老人ホーム	15	1	4	1	3	1	0	3	26
	軽費老人ホーム （ケアハウス）	5	0	0	0	0	0	0	1	6
	地域包括支援センター	13	1	1	1	1	1	1	1	20
	生活支援ハウス （高齢者生活福祉センタ ー）	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	老人福祉センター	2	1	0	1	3	1	3	1	12
	老人憩の家	5	0	0	0	0	0	0	0	5

資料：青森県健康福祉関係施設名簿（青森県）

※「老人憩の家」の立地状況は、八戸市資料より作成

(4)文化・スポーツ施設

図表1-66 構成市町村別 文化・スポーツ施設の立地状況

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
文化施設	17						2	8	50
スポーツ施設	39						6	10	107

資料：各市町村

図表1-67 構成市町村別 文化・スポーツ施設一覧

**新規作成予定
(表)**

資料:各市町村

(5)NPO法人

図表1-68 構成市町村別 NPO法人の設立状況

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域	
NPO法人数	65	3	最新値に更新予定					0	7	89

図表1-69 圏域のNPO法人の設立状況(分野別)

**新規作成予定
(グラフ)**

資料:内閣府

(6)小学校・中学校

図表1-70 構成市町村別 小学校数と児童数

**新規作成予定
(表)**

資料:青森県教育委員会、各市町村

図表1-71 構成市町村別 中学校数と生徒数

**新規作成予定
(表)**

資料:青森県教育委員会、各市町村

(7)高等学校

図表1-72 構成市町村別 高等学校数と生徒数

**新規作成予定
(表)**

資料：青森県教育委員会、各市町村

(8)専修学校

図表1-73 構成市町村別 専修学校数と生徒数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
専修学校(校)	8	0	0	0	0	0	0	0	9
生徒数(人)	552	0	0	0	0	0	0	0	764

資料：青森県教育委員会、各校

(9)圏域大学、短期大学、高等専門学校

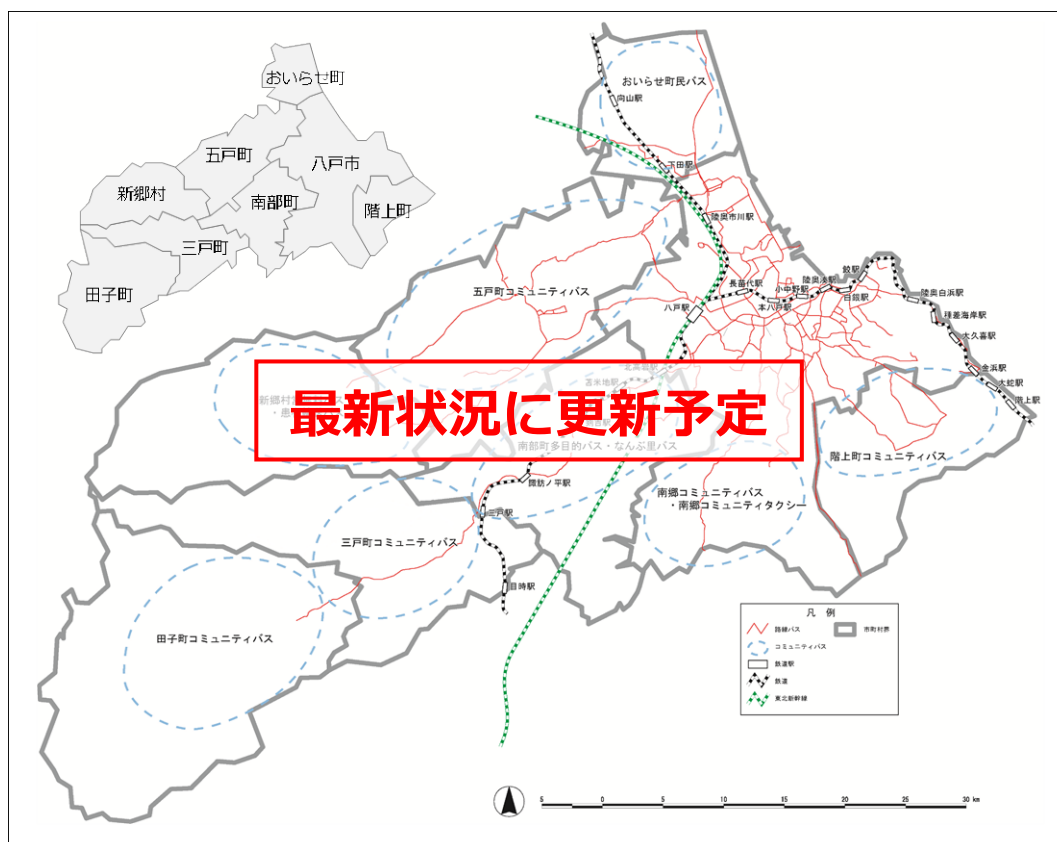
図表1-74 圏域大学、短期大学、高等専門学校と学生数

分類	名称		学部・学科名	学生数（人）計
大学	私立	八戸工業大学	工学部	1,198
			機械工学科	191
			電気電子工学科	114
			システム情報工学科	314
			生命環境科学科	107
			土木建築工学科	293
			感性デザイン学部	157
			創生デザイン学科	157
			工学研究科	4
			（博士前期課程）	電子電気・情報工学専攻
	（博士前期課程）	機械・生物化学工学専攻	9	
	工学研究科	（博士前期課程）	機械・生物化学工学専攻	1
	（博士後期課程）	電子電気・情報工学専攻	0	
	（博士後期課程）	社会基盤工学専攻	3	
私立	八戸学院大学	ビジネス学部	79	
		地域経営学部	228	
		人間健康学科	354	
		健康医療学部	256	
短期大学	私立	八戸学院大学 短期大学部	—	203
		幼児保育学科	172	
高等専門学校	国立	八戸工業高等専門学校	—	891
			産業システム工学科	834
			機械工学科	1
専攻科			産業システム工学専攻科	56
合 計				3,209

資料：青森県教育委員会、各校

(10) 圏域内の公共交通網

図表1-75 圏域内の公共交通網



(11) 鉄道

図表1-76 圏域内の鉄道の1日平均乗降人員の推移

单位:人

運行会社・駅名		1日平均乗車人員		1日平均乗車人員	
		定期外	定期	合計	
東日本旅客鉄道株式会社	八戸(新幹線)	2,912	488	3,400	
	八戸(八戸線)	227	893	1,120	
	本八戸	515	639	1,154	
	陸奥湊	80	46	126	
	鮫	129	153	282	
運行会社・駅名		1日平均乗降人員		1日平均乗降人員	
		定期外	定期	合計	
青い森鉄道株式会社	向山	49	67		
	下田	264	405		
	陸奥市川	274	376		
	八戸	1,505	1,326	2,831	
	北高岩	8	32		
	苫米地	21	101		
	剣吉	69	412		
	諏訪ノ平	9	71		
	三戸	114	457		
	目時	12	33		

資料:東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

(12)路線バス

図表1-77 路線バスの輸送人員の推移

単位:人

運行会社	輸送人員	輸送人員
八戸市交通部		3,869,443
岩手県北自動車株式会社南部支店		1,740,446
十和田観光電鉄株式会社		236,607
計		5,846,496

最新値に更新予定

資料:八戸市

(13)インターチェンジ

図表1-78 圏域内インターチェンジ

所在地	名称
八戸市	八戸北IC、八戸IC、南郷IC、八戸景川IC、八戸南IC、八戸西スマートIC
階上町	種差海岸IC
おいらせ町	三沢十和田下田IC、下田吾石IC

最新値に更新予定

資料:八戸市

(14)フェリー

図表1-79 フェリーの運航区間及び旅客数の推移

単位:人

運航区間	旅客数	旅客数
八戸～苫小牧		339,266

最新値に更新予定

資料:川崎近海汽船株式会社

第2章 圏域の中長期的将来像

1 人口の将来展望

2 圏域の方向性

3 目指す将来像（※二次案において記載予定）

検討中

第3章 将来像の実現に向けた具体的取組

1 施策体系

2 具体的取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引
(2) 高次の都市機能の集積・強化
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

3 推進体制

検討中

（※二次案において記載予定）

八戸圏域連携中枢都市圏

圏域住民アンケート

中間報告書

令和3年8月

八戸市

八戸圏域連携中枢都市圏 圏域住民アンケート
中間報告書

目次

I 調査概要

1. 調査目的	64
2. 調査期間	64
3. 調査方法	64
4. 回答状況	64
5. 調査項目	64

II 調査結果

1. 回答者の属性	65
2. 八戸圏域連携中枢都市圏の認知度	68
3. 他市町村との繋がり	69
4. 連携の取組(満足度・重要度)	73
5. 圏域全般	75
自由記述	77

I 調査概要

1. 調査目的

第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの策定にあたり、八戸圏域連携中枢都市圏の取組等について、圏域住民の皆様からの意見を広く収集し、ビジョン策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査期間

- 調査票の配付 : 令和3年7月 19 日(月)
- 回 答 期 間 : 令和3年7月 20 日(火)～令和3年8月 6 日(金)

3. 調査方法

- 住民基本台帳より抽出した圏域住民2,000人を対象に実施。(各市町村から250人を年齢階層別・男女別に無作為抽出)
- 調査票は郵送により配布し、回答は郵送(返信用封筒を同封)のほか、インターネットにより受付。

4. 回答状況(令和3年8月6日時点)

郵 送	501 票
インターネット	159 票
合 計	660 票(回収率 33%)

5. 調査項目

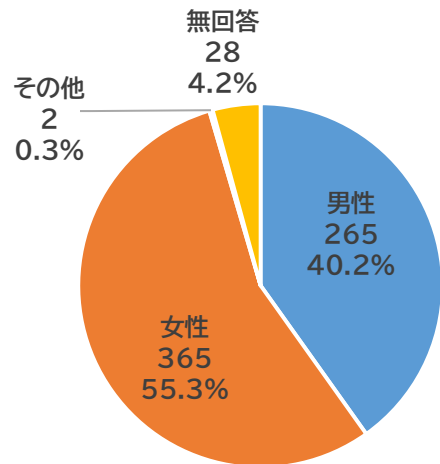
- ① 回答者の属性(性別、年齢、所在地、職業、家族構成)
- ② 八戸圏域連携中枢都市圏の認知度
- ③ 他市町村との繋がり
- ④ 連携の取組(連携している80の取組の満足度と重要度)
- ⑤ 圏域全般(圏域の魅力・愛着、定住意向、今後重要だと思う取組)

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

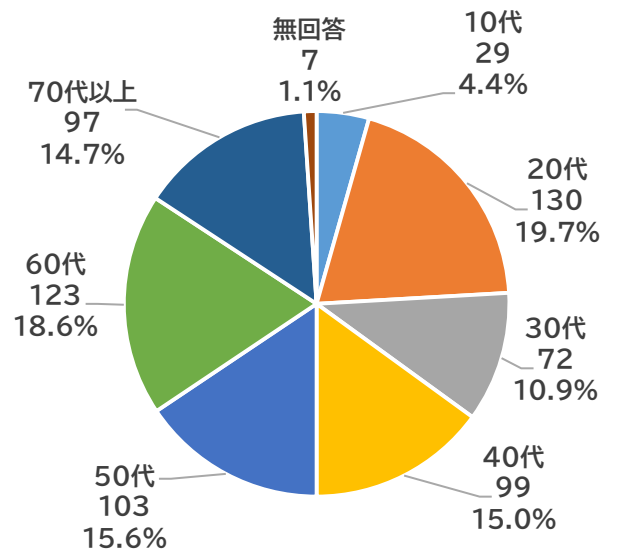
(1)性別

1 (1) 性別	回答数	割合
男性	265	40.2%
女性	365	55.3%
その他	2	0.3%
無回答・無効回答	28	4.2%



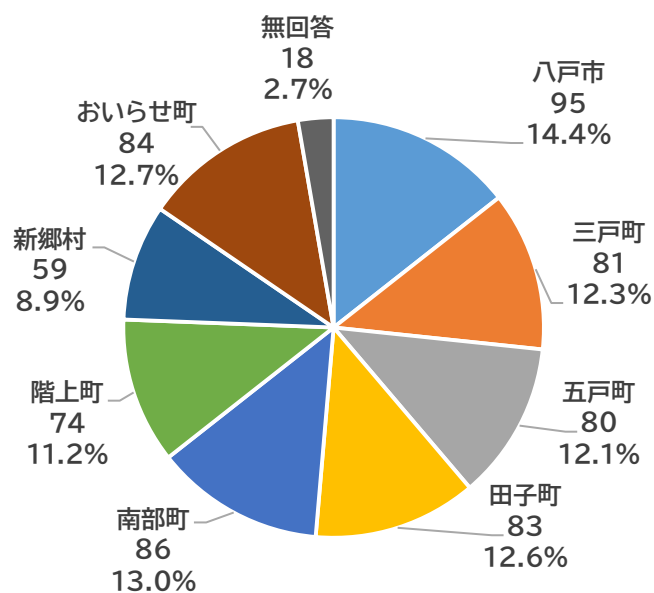
(2)年齢

1 (2) 年齢	回答数	割合
10代	29	4.4%
20代	130	19.7%
30代	72	10.9%
40代	99	15.0%
50代	103	15.6%
60代	123	18.6%
70代以上	97	14.7%
無回答・無効回答	7	1.1%

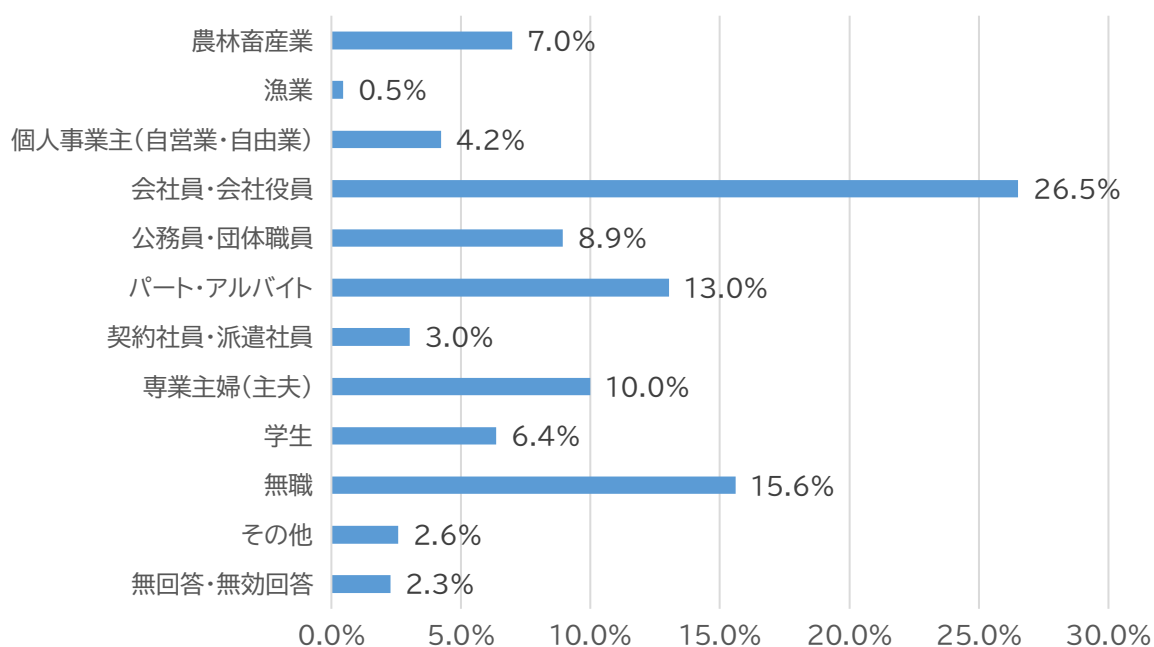


(3)居住している市町村

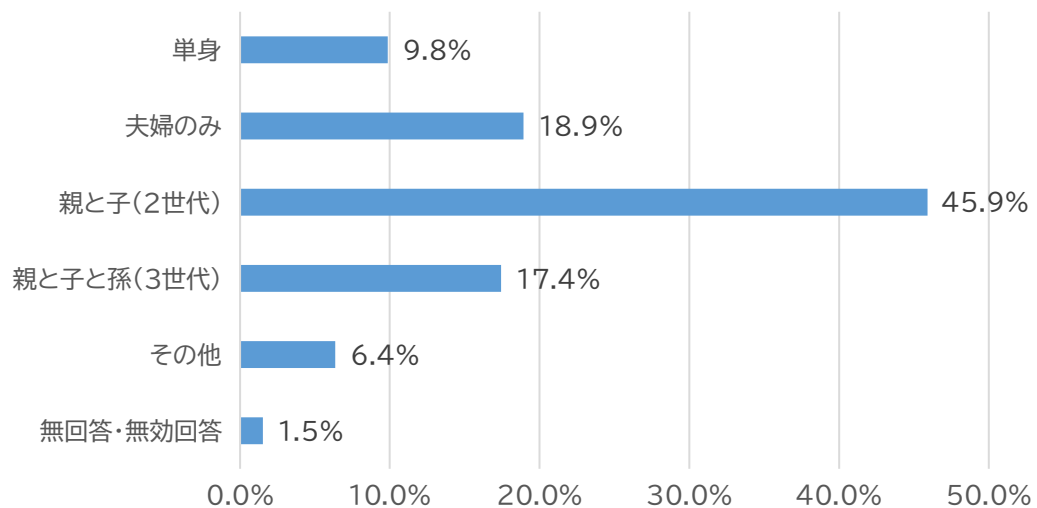
1 (3) お住いの市町村	回答数	割合
八戸市	95	14.4%
三戸町	81	12.3%
五戸町	80	12.1%
田子町	83	12.6%
南部町	86	13.0%
階上町	74	11.2%
新郷村	59	8.9%
おいらせ町	84	12.7%
無回答・無効回答	18	2.7%



(4)職業

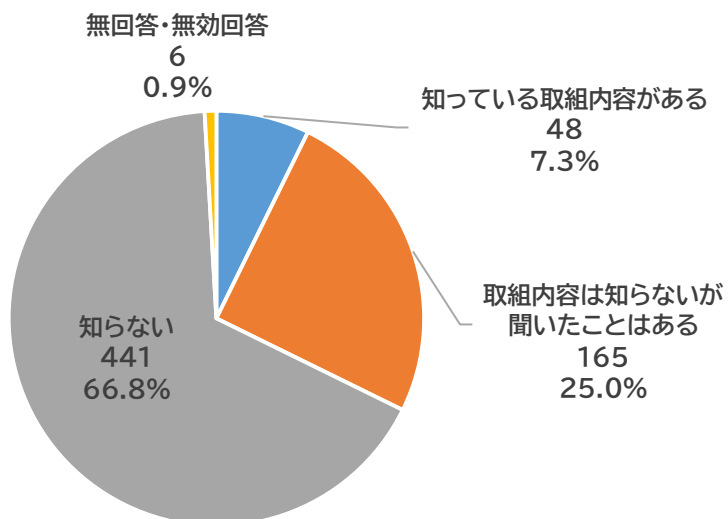


(5)同居している世帯・家族の構成



2. 八戸圏域連携中枢都市圏の認知度

問1 八戸圏域連携中枢都市圏(八戸都市圏スクラム8)について、どのくらい知っていますか。

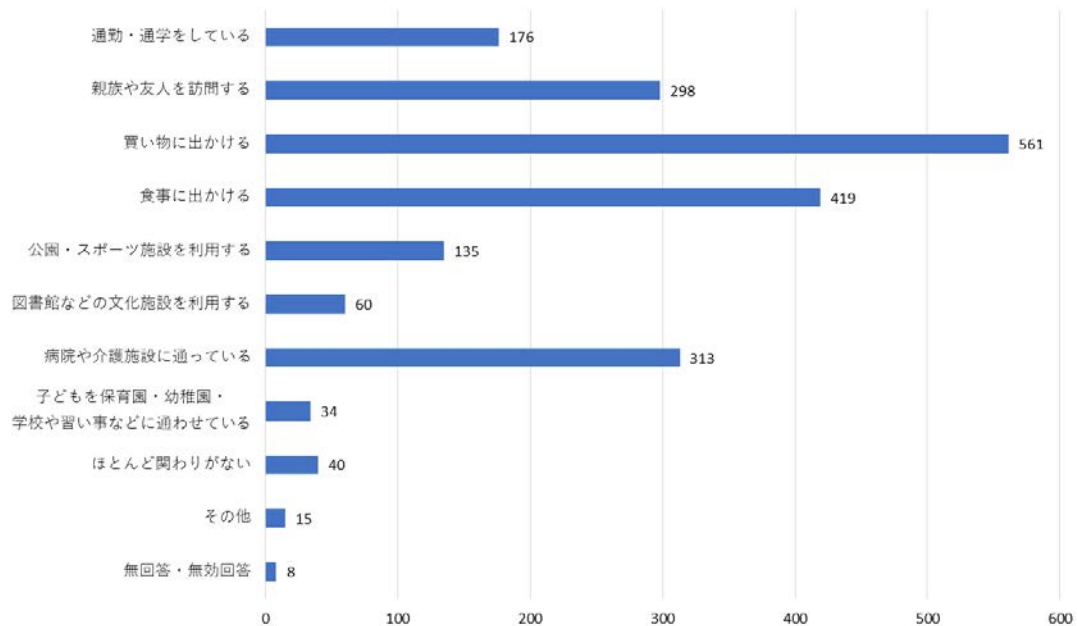


◆八戸圏域連携中枢都市圏(スクラム8) 認知度(市町村別)

	知っている 取組内容がある	取組内容は知らないが聞いたことはある	知らない	無回答・ 無効回答	合計
八戸市	6	24	64	1	95
三戸町	6	23	52	0	81
五戸町	7	21	52	0	80
田子町	7	19	56	1	83
南部町	8	16	62	0	86
階上町	3	19	52	0	74
新郷村	6	19	34	0	59
おいらせ町	3	20	61	0	84
無回答	2	4	8	4	18
全体	48	165	441	6	660

3. 他市町村との繋がり

問1 お住まいの市町村以外の圏域市町村と、普段どのような関わりがありますか。(複数回答可)



※「その他」の主なもの：温泉利用、仕事(ビジネス)、イベント 等

◆他市町村との関わり(市町村別内訳)

		回答者の居住地									合計
		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	無回答・無効回答	
他市町村への訪問目的	通勤・通学をしている	5	19	28	19	26	33	19	24	3	176
	親族や友人を訪問する	35	30	39	31	49	41	37	32	4	298
	買い物に出かける	56	70	74	76	79	66	56	69	15	561
	食事に出かける	37	51	59	46	66	49	43	58	10	419
	公園・スポーツ施設を利用する	18	14	15	9	18	25	16	17	3	135
	図書館等の文化施設を利用する	5	10	11	4	7	7	8	8	0	60
	病院や介護施設に通っている	6	44	42	46	44	54	36	34	7	313
	子どもを保育園・幼稚園・学校や習い事などに通わせている	2	6	7	5	2	7	1	4	0	34
	ほとんど関わりがない	28	1	2	0	1	3	0	5	0	40
	その他	2	3	3	2	2	1	0	2	0	15
	無回答・無効回答	1	0	0	1	1	0	1	1	3	8
	合計	195	248	280	239	295	286	217	254	45	2,059

問2 あなたが普段、主に利用する施設等について、記入してください。

日常生活に特に関わりの深い「通勤・通学」、「買い物(食料品・日用品)」、「通院・通所」について、市町村ごとの関わりは以下のとおり。

◆通勤・通学

		通勤・通学先											
		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他市町村	その行動をしていない	無回答・無効回答	合計
回答者の居住地	八戸市	35	1	0	0	0	0	1	1	3	6	48	95
	三戸町	9	19	0	0	5	0	0	0	4	5	39	81
	五戸町	16	1	14	0	2	0	1	3	1	3	39	80
	田子町	8	6	0	13	1	0	0	0	2	6	47	83
	南部町	18	1	2	2	14	0	1	1	1	1	45	86
	階上町	26	0	1	0	0	5	0	1	1	2	38	74
	新郷村	9	0	5	0	1	0	10	0	0	1	33	59
	おいらせ町	17	0	2	0	0	0	0	7	16	2	40	84
	無回答・無効回答	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	14	18
	全体	139	28	25	15	23	5	13	14	28	27	343	660

◆買い物(食料品・日用品)

		買い物先											
		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他市町村	その行動をしていない	無回答・無効回答	合計
回答者の居住地	八戸市	64	0	0	0	1	2	0	10	0	0	18	95
	三戸町	17	42	0	0	1	0	0	0	1	0	20	81
	五戸町	25	0	30	0	2	0	0	5	3	0	15	80
	田子町	3	26	0	25	0	0	0	1	1	1	26	83
	南部町	34	4	0	0	28	0	0	1	0	0	19	86
	階上町	35	1	0	0	0	22	0	0	0	0	16	74
	新郷村	12	2	16	1	0	0	1	1	11	0	15	59
	おいらせ町	12	0	0	0	0	0	0	33	16	1	22	84
	無回答・無効回答	3	1	0	1	0	0	0	4	0	0	9	18
	全体	205	76	46	27	32	24	1	55	32	2	160	660

◆通院・通所

		通院・通所先											
		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他市町村	その行動をしていない	無回答・無効回答	合計
回答者の居住地	八戸市	44	0	0	0	0	0	0	0	1	4	46	95
	三戸町	19	15	0	1	13	1	0	0	1	2	29	81
	五戸町	22	0	20	0	2	0	0	0	2	2	32	80
	田子町	17	8	2	9	7	0	0	0	3	6	31	83
	南部町	28	1	0	0	15	0	0	0	0	7	35	86
	階上町	34	1	0	1	1	2	0	0	0	1	34	74
	新郷村	10	0	14	0	0	0	4	0	6	2	23	59
	おいらせ町	17	0	1	0	1	0	0	11	10	4	40	84
	無回答・無効回答	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	12	18
	全体	194	25	38	11	41	3	4	11	23	28	282	660

参 考

他市町村の住民が普段利用している主な施設等は以下のとおり。

	施設名(利用目的)
八戸市	温泉施設、種差海岸（趣味・娯楽） 三春屋、ピアドゥ、ラピア（買い物、食事） YSアリーナ、フラット八戸、南部山（公園・スポーツ施設） 市立図書館、南郷図書館、はっち（図書館・文化施設）
三戸町	マックスバリュ（買い物） ユニバース（買い物） 城山公園（公園・スポーツ施設）
五戸町	ひばり野公園、小渡平公園（公園・スポーツ施設） 五戸町図書館（図書館・文化施設）
田子町	マエダ、ニコット（買い物） 田子診療所（通院・通所）
南部町	ボートピアなんぶ（趣味・娯楽） 産直（買い物） バーデハウス（公園・スポーツ施設）
階上町	ハマの駅あるでいーば（買い物） 道の駅（外食）
新郷村	新郷温泉（趣味・娯楽） 新郷診療所（通院・通所）
おいらせ町	イオン下田（趣味・娯楽、買い物、食事） 北公民館（公園・スポーツ施設、図書館・文化施設）

4. 連携の取組(満足度・重要度)

問1 八戸圏域で現在推進している 80 の取組について、「満足度」と「重要度」を記入してください。

「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの役割ごとの「満足度」と「重要度」の上位3事業は、以下のとおり。

【満足度・重要度 算出方法】

満足度・重要度の各選択肢に下記のとおり配点を設定し、平均を算出。

満足度：A非常に高い(5点) B高い(4点) C普通(3点) Dやや低い(2点) E低い(1点)

重要度：A非常に重要(5点) B重要(4点) C普通(3点) Dあまり重要でない(2点) E重要でない(1点)

計算式：(5×Aの回答者数+4×Bの回答者数+3×Cの回答者数+2×Dの回答者数+1×Eの回答者数)

÷(A～E回答者総数)

「圏域全体の経済成長のけん引」

◆満足度

順位	事業名	満足度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	八戸都市圏交流プラザ事業	3.41	3.21	3.74	3.60	3.76	3.38	3.21	3.30	3.07
2	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ	3.30	3.27	3.76	3.16	3.48	3.16	3.04	3.38	3.19
3	地場製品の販路拡大事業	3.23	3.03	3.82	3.20	3.29	2.95	3.11	3.39	3.13

◆重要度

順位	事業名	重要度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	求人・求職情報等無料ウェブサイト運営事業	3.84	3.98	3.98	3.87	3.68	3.75	3.74	3.83	3.79
2	地域事業所人材獲得等支援事業	3.83	3.87	4.00	3.95	3.84	3.68	3.78	3.76	3.70
3	農業情報提供事業	3.82	3.78	3.97	4.07	3.88	3.79	3.73	3.84	3.55

「高次の都市機能の集積・強化」

◆満足度

順位	事業名	満足度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	ドクターカー運行事業の充実・強化	4.06	3.84	4.06	4.18	4.00	4.21	4.24	3.97	4.10
2	高度医療従事者育成事業	3.75	3.56	3.93	3.84	3.70	3.81	3.87	3.75	3.57
3	八戸市総合保健センター運営事業	3.72	3.66	3.68	3.79	3.80	3.72	3.91	3.76	3.52

◆重要度

順位	事業名	重要度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	ドクターカー運行事業の充実・強化	4.45	4.43	4.43	4.64	4.33	4.49	4.49	4.35	4.42
2	高度医療従事者育成事業	4.28	4.26	4.29	4.45	4.13	4.21	4.25	4.18	4.35
3	八戸市総合保健センター運営事業	4.15	4.26	4.19	4.22	4.06	4.13	4.21	4.02	4.00

「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」

◆満足度

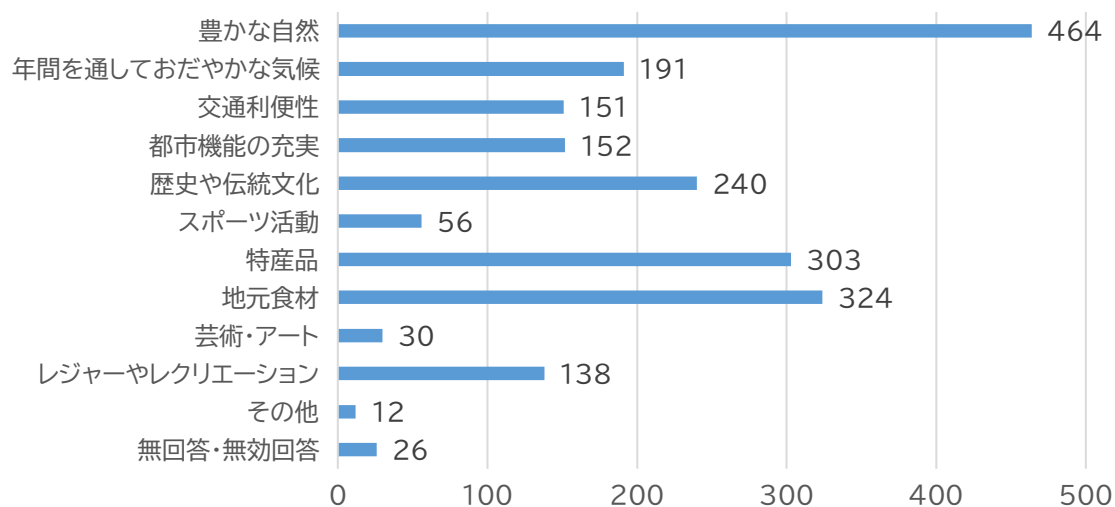
順位	事業名	満足度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	ドクターカー運行事業	3.99	3.71	3.94	4.17	3.90	4.14	4.10	3.94	4.03
2	救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業	3.69	3.54	3.74	3.82	3.57	3.84	3.63	3.76	3.68
3	医師派遣事業	3.59	3.51	3.71	3.84	3.56	3.48	3.50	3.73	3.32

◆重要度

順位	事業名	重要度	市町村住民別 内訳							
			八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
1	ドクターカー運行事業	4.40	4.36	4.49	4.57	4.23	4.36	4.41	4.34	4.45
2	医師派遣事業	4.34	4.17	4.57	4.47	4.32	4.27	4.11	4.48	4.36
3	救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業	4.25	4.23	4.28	4.29	4.23	4.21	4.15	4.17	4.37

5. 圏域全般

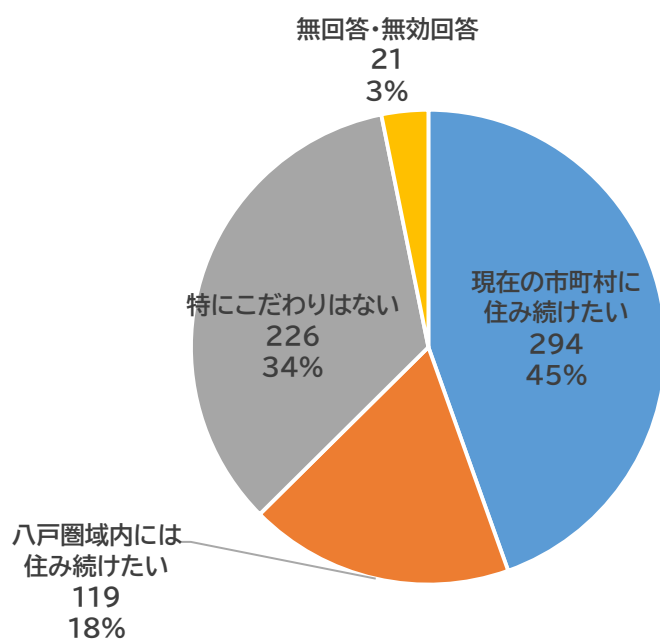
問1 どのような点に八戸圏域の魅力や愛着を感じますか。（複数回答可）



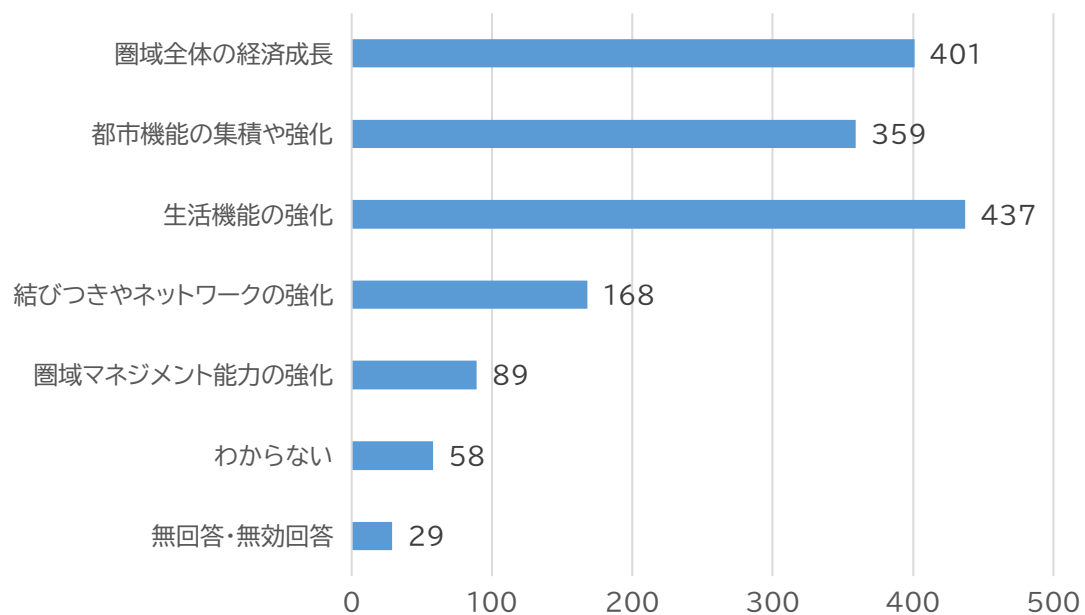
※「その他」の主な意見： 災害が少ない、人が優しい、方言、特にない 等

問2 将来も八戸圏域に住み続けたいと思いますか。

現在の市町村に住み続けたい	八戸圏域内には住み続けたい	特にこだわりはない	無回答・無効回答	合 計
294	119	226	21	660



**問3 より魅力ある八戸圏域の実現のため、今後重要だと思う取組分野は
なんだと思いますか。（複数回答可）**



今後連携を進めて欲しい具体的な取組があれば、ご自由にお書きください。
(自由記述)

NO	回答
1	公共交通網の開発と整備
2	公園が少ないので、もっと増やしてほしい。 病院も少ないので、もっと増やしてほしい。 通学に歩道がなく危ないので、歩道をつくってほしい。
3	将来的に関東圏のような、車ではなく、公共の交通機関で移動・生活が充実してくれば理想的だと考えます。 あとは、医療・学業・就職の保障が充実すると尚助かります。
4	生活習慣病予防の為、八戸市運営の無料スポーツジムを新設してほしい。
5	転勤で八戸に来る人たちは ほとんど 住民税 下水道料金の高さにテンションが下がります。 7つの町の移住者誘致 人口確保 古民家 空き家の低価格での譲渡 リノベーションを楽しむ時代です。 軽トラで集える場所 学べる場所 老若男女交流できるスポット作りがあってもいいかも。
6	自治会の活動内容を可能な限り軽量化する目的をもってテンプレ化し、一部の者に負担(ないし飲食等の権益)が偏らぬ様事業化して下さい。できれば法テラス等と連携の上のトラブル発生時の相談窓口もセットで。
7	コロナ禍で外出も少なく知らない取組が多いことに驚きました。 今後増えると思われる単身者のフォロー対策も連携で行うことを提案します。 ずれる意見かも知れませんがこれらの取組を身近に利用出来るコンシェルジュのような窓口があればよいと思います。
8	軽度発達障害児の学校での支援、少人数にクラス分けするなどの環境整備
9	子供が遊べるレジャー施設を増やして欲しい
10	娯楽施設を増やして欲しい
11	圏域内での移動を楽にするため、小型バス等の運用を増やしてほしい。また、コロナ禍では難しいが人と人が集まれる場所に行けるバスがあれば便利。スーパーとコミュニティセンターが離れていて何度もバスに乗らなければならず不便。出来れば近いところにしてほしい。
12	圏域全てに(内陸部)に電車。 もしくは、八戸尻内駅から三沢駅まで地下鉄運営をし、三沢空港から八戸駅直結の交通網により、スケート施設や観光客、ライブ等地域住民他、観光客なども便利になり、観光・サービス業や、医療・災害時も連携しやすいのではないかな。
13	街中のお店に魅力を感じない。用事がない限り近づくなくなっている
14	生命が危機に瀕したとき、手助けしてくれ保障が充実すれば人は寄ってくる。子の成長に医療費が全く掛からない制度とか欲しい。障害者にも優しい都市であってほしい。

15	公的サービスについて、八戸は様々なサービスを行っていると思うが、特に自分が住んでいる五戸町とは大きく異なり、どうしても比較して差を感じる(戸籍などの書類などの取り方ひとつでも不自由)。こうした差も連携してあわせられれば良いと思います。 また、多賀多目的運動場の運営については、J2 基準まではいなくても、観客席の屋根やバックスタンドの座席化など、コンパクトでも観戦しやすい環境を希望します。
16	高校教育のレベルアップ(偏差値強化)と難関大への合格者数大幅アップ
17	無駄に道路が多いので交通量の少ない所は閉鎖等してもいいと思う。 空き家や荒廃農地&耕作放棄地の上手な活用をしてほしい。
18	賃貸、借家不足
19	(子育て)高等教育について、八戸市内へ1時間以上かかるような僻地と都市部の利便性や費用の格差が大きすぎるので、通学の利便性をもっともっと高めて欲しい。(学校関係なく利用できる公共での寮の運営・下宿補助・八戸市内 30 分圏内への一時移住促進等) 一時間以上かかる高校に自宅からの通学となると、教育・生活環境の質が低下せざるを得ず、学力が高かったり教育意識の高い家庭ほど地元(田舎)から脱出してしまおうと思います。
20	定年後も雇用してもらえる会社を増やす。支援する。給料の面が一番肝心。
21	働く企業が無さすぎる
22	もう少し、公園を増やしてもいいと思う。体を動かして遊べるような施設が少ないとおもうので、例えばストリートバスケットボール場やボルダリング場、スケートボード場など最近流行りだしたスポーツも取り入れた施設を増やすと活気付くと思う。 八戸駅周辺が閑散としているイメージがあるので、そういったところに作るとより賑わい、観光客もそれを見て魅力的な地域だと感じるのではないのでしょうか
23	年々交通の便が悪くなっていると感じる。車を運転できなくなったあとの通院や買い物に不安を感じる。
24	はっち(子どもはっち)やくりやランド等幼児が楽しめる所があるのはありがたいですが、小学校のお兄ちゃんお姉ちゃんも一緒にあそべる施設(体を使って遊べるような)がゲームセンター以外であればうれしいです。
25	乳幼児の医療費の無償化にしてほしい。
26	圏域全般について取り組みの周知
27	八戸圏域はいいんですが、八戸市民病院へ行く場合は、高くなる事に不満を感じます。私は八戸市で生まれ現在は他町村に住んでますが、自分の名義の土地が八戸市にあり、市民病院に受診する場合は高くなる事はいかなものかと、つねづね思います。所得以外の税を八戸市に納めている。こういう人も居る事を認識してほしい。(ガソリン税も) ・八戸市民病院は市民の税金を投入している為、初診が他町村から来た人は高くしているいかなものか。 ・南部町の公共施設を無料で利用している。(杉沢の多目的グラウンド)八戸の子供達

	がサッカーをしに来ている。この事をわかってますか？ ・バーデハウスは税金を投入しているのにもかかわらず、年利用者には町民以外も同一料金にしている。・ホッケー場も同一料金にしている。
28	全部八戸市にすればいいと思う
29	年1回保健協力員で八食ヤンターズ研修会があります。今はコロナで中止ですが八戸、五戸、おいらせ、市町村で集まってお互いお話して楽しんでいます。帰りは買物などして帰って来ています。
30	八戸市への通勤、通学、通院に合わせたの国道104号線の整備、拡張事業を積極的に取組んでもらいたい。(ex.カーブを減らす、歩道の整備)
31	コロナが収束すれば人の移動が活発になる筈なので、市町村は積極的にその施設を開放し、人的イベントの交流を促進して欲しい。山川海、全部揃っている地域なので域内移動に特化してやってみて下さい。
32	・八戸市で行っているはつらつポイント(60歳以上の方が老人ホーム等でボランティアをする)を他7町村でも自由に行き来して活動できるといいと思います。 ・八戸の市バスがおいらせ町のジャスコまで行けるといいのですが。(十和田からの路線バスが朝一本市民病院まで走っていますが、とても便利です)
33	・税金や水道代、ガス代等の金額を均一にし、市町村人口の増減を無くする。 ・子育て支援の充実化を図り、子どもの人数増加に繋げる。
34	・学校の部活動が指導者不足でどんどん活動できなくなっています。好きな事をさせる為には、クラブチームに入るしかないが、部活とは違いお金はかかるし、送迎もあるので、仕事をしてるとあきらめさせてしまう事が多いです。子供達が家庭の事情や親の都合で挑戦できない現状を変えられないか。 ・病院、老人ホーム等がどんどん出来る事はもちろん大事なんですけど、子供達が安心して遊べる公園だったり施設が少ない。色々な面で選択肢が少ない事で、大人になった際、八戸圏域から出て行くんだと思います。子育てしにくい地域だと、親も出て行く事をあと押ししてしまいます。
35	学校の統廃合などによる通学困難者やその親などへの支援など。女性の就業者への支援。各産業の継続のための多角的支援等。
36	圏域8市町村の郷土芸能などを集め、新しいお祭りをそれぞれの市町村持ち回りで開催する。そこに人々の交流や縁結び、経済がうまれてくる。
37	ラウンドワンやサイゼリアなどの施設が増えると八戸圏域に住みたいと思う人も増えると思う。もっと住みやすい町・市になることを願ってます。
38	子育て世帯が安心して住めるような取り組みを今後も続けていただければ幸いです。仕事柄圏域でのつながりの重要性を感じているので、今後さらなる活躍？に期待します！！
39	市内の店の充実。またたび亭等の保護猫カフェへの支援。→チーノなど、店が入っていないビルの改装支援を進め、店を充実させて欲しい。青森市の駅前のように、病院や、保育施設等を入れると良いかもしれない。
40	79.女性チャレンジ講座開催事業をしなくても差別を感じさせない取り組みをして欲しいです。

41	圏域といっても八戸が中心で、少し残念な部分もありますが、もっと PR した方がいいのでは？わからない取組がたくさんありすぎてアンケートに答えられなかったです。自分の考え方も十分に入っているかと？
42	階上町の道路を、少しずつで良いから整備を考えて欲しい
43	遊園地などの観光者が集まるような施設を作ると、とてもにぎやかで人がたくさん来てくれると思います。
44	箱物や、市内のはっち等への税金投入をやめ、小、中学校へのエアコン設置や子供の医療費等を考えてほしい。
45	子どもが遊べる施設を増やして！若者が住みやすい町に！もっとわかりやすく取り組みの説明・公表を！
46	はっちでのイベントをいっぱいやってほしいです。例えば、(チアダンスや歌のコンテスト)などです。
47	よく分からない事業が多すぎる。本当に実績を上げて市民が満足を得ているのか？増やすよりも効果のない事業、不要な事業、市民が存在を知らない事業は減らして税金を安くしたらどうですか？その方がもっと市民はくらしやすくなる。町の役場職員を見ていると 1h おきにたばこ休憩したりと、本当にヒマなんだなと思っています。事業を増やして税金使って無駄な人件費使わず、節約することを心がけてほしい。
48	私達は 70 代の 4～5 人のグループで週 1 ボーリング、食事、おしゃべりを楽しんでいます。内 2 人は今年 80 才になります。だんだん腰や膝に痛みを感じるようになり、ちょっとしたストレッチで緩和されるんですが一人じゃ面倒なのか仲々実行出来ません。4～5 人でも気軽に集まれるスペースって出来ないもののでしょうか。プレイピアの敷地なんとか活用する方法はないもののでしょうか常々勿体無いと思っています。
49	八戸市が色々な事業を行っていることを今回のアンケートで初めて知った(八戸圏域に最近住み始めたので)。今後、子育てをする予定なので、子どもの医療費助成制度があれば有難いと思う。
50	・交通機関の充実(100 円バス等) ・町中の活気作り、イベント・医療機関の充実、常勤の医師(小児科) ・病児保育を病院隣に隣接・娯楽施設の建設
51	今回のアンケートに回答して、八戸市でさまざまな取組を行っている事がわかり良かったです。八戸で仕事をする場所がもっと増えるといいと思っています。特に若い方の雇用支援や医療サービスが充実する事を期待しています。
52	関係ないかもしれませんが、歩道が狭いなど、道路状況の改善を。
53	もう少し充実した運動施設を建設して下さい。青森、弘前と比べたら、あまりにも貧弱です。
54	・若い人達が皆正社員で働ける社会であってほしい。 ・老いても暮らしやすい八戸市であって欲しい。
55	気軽に農業体験。私は個人的に興味があると、作業している方などに声をかけ質問してしまいます。(不審に思われますが)だいたい親切な方々で教えてくれます。上

	手に表現できずすみません。
56	八戸都市圏スクラム 8 を知らない。もっとアピールしてはどうか。
57	市内のブックセンターはっちなど、でかけたいが駐車場が不便だと感じる。車の移動が主なため、駐車場を第一に考えてしまう。
58	この会議があるのなら、参加したいです。未来の子供たちに、いい青森を、そして三八を。
59	(意見)・取組の名称が難しく、もしかしたら知ってる物なのかもしれないが、内容を見なければ、分かりにくい物が多いように感じる。多くの人に周知してもらいたいのであれば、もっと分かりやすい名称にするべきだと思った。情報発信ももっと行っていくべき。(取組)・未就学児の発達相談について。
60	もっと子育てしやすいまちになってほしい
61	流域圏単位での自然保護、開発、防災、文化交流、教育などを推進してみるのにより良い発展につながると思います。(流域圏が他県にまたがる場合は、単位として交流を推進すればいいと思います。)
62	色々な取組をして頂いているのにほとんど知らずに申し訳ありません。このような取組のおかげで楽しく暮らしているので感謝しています。必要な時に必要なサービスが受けられるよう、今後もよろしくお願いします。
63	人口減少がこれからも確実に続いていくと思いますが、それを逆手にとって、少人数でもできることを考えていく上でも地域の交流をもっと活発にしていければと思います。
64	もうすぐ就職活動を開始する予定の大学 3 年生です。以前までは、家族にもすぐ会える距離の住み慣れた街で働きたいと考えていましたが、就職を考えた際、八戸圏域に希望の職種の求人が少ないことや職種の差別化がされていない所が多く、給与が他地域に比べ大幅に低い(某求人サイトによると全国最下位の水準だそう)ことから、青森県を離れようと考えています。
65	是川遺跡は世界的に有名になりました。南部町の正寿寺館跡も時代は違いますが、日本の歴史において重要な場所として注目されてくると思われます。予算を多く取って深く長く進めていってほしい。
66	少子高齢化に伴ない、限界集落(市町村)、消滅集落(市町村)がさらに進むと思われますが、圏域全体で、対策に取り組んでいく必要があると思われます。
67	・手話通訳士の育成・盲者通訳士の育成→小、中、高の子供達にセミナーなどをやってほしい。将来の職業のひとつとして教えてほしい。 ・関東圏内のみ取得可能な国家資格等の圏内実施。→その為の勉強会等・おいらせ町の公園の増加(学区内に子供だけで遊べる安全な場所) ・児童館の先生の育成・学校通学路、歩道の整備・個人病院と総合病院の使い方についての案内。高齢者にわかりやすく。
68	道路の整備(新しい道路はいらない)
69	役所が主動する事はありがたいが、立割り業務でなく、民間の意見も取り入れてほしい。我が町有りきの役所取的取組の様で一体感が無い様な気がする。全国大会を 16 回開催して居ますが五戸町でもあまり協力してもらえない。

70	天気に左右されないようにバス停に屋根がほしい。バスの利用時に屋根や扉が付いて中でバスを待てることとてもありがたいです。
71	学生や高齢者等、交通手段に困っている方、免許を返納した方への支援を進めて欲しいです。例えば、コミュニティバスの時刻の調整やタクシーの活用(料金を割引、免許返済の提示で安く利用できる等)を増やしていくことなどです。
72	大学を卒業すると就職が公務員など特定業種にかたよるように思える。そのため、学歴が上がると若年の方々の流出につながりやすいのではないかと考える。多様な人材をとにかく地域で確保するのに力を入れて欲しい。また、チャレンジできること(仕事など)をもっとアピールしても良いと思う。
73	八戸都市圏スクラム 8 という名前は聞いた事があったが、こんなにたくさんの取組がある事は今回初めて知りました。自分の勉強不足に反省しております。事業の内容についてもっと知る機会があればうれしいです。
74	歳をとり、はじっここの村に住んでいると、あきらかに情報が入りにくいというか、自分から努力しなければ、情報を得るのが難しいと思っている。インターネットは苦手となれば、これからどうやって情報を、それも、正しい情報を自分に入れていくのかが、不安でしかない。
75	八戸市一極集中になるのでしょうか、圏域の端っこにも血がかよった施策、取組をお願いします。
76	・縁結び支援事業のような若い人が人と直接会って交流できる場をもっと他の地域と連携して取組んでほしい。 ・80 の取組がありましたが、多ければいいというワケじゃないと思うので、もっと焦点を絞って内容を濃く、色んな人に認知される取組をするべきだと思います。
77	子供が安全に通学できるような取組みをお願いしたいです。(通学路のガードレール設置や、家から小学校が遠い場合に利用できる通学バスの様なものがあればうれしい)
78	せっかくスケート場があるのだからスケート留学等出来ればいいかなと思います。寮等作って全国から子供達が来てくれたら八戸といえばスケートでもっと有名になればなあと思います。
79	病院の駐車場を無料にして欲しい。
80	住みよい街づくりの推進 1.安心安全な街づくり 2.人づくりや人材の育成を図る
81	八戸市の保育施設利用の際、親世代の負担軽減、保育料非無償化対象(0～3 才児)の保育料平等、子育てをもっとしやすい制度を作ってくれる取組をお願いしたい。

全国における連携中枢都市圏の形成状況について（令和 3 年 8 月末現在）

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約（締結日）	都市圏ビジョン（公表日）	連携市町村	圏域の概要等
1	福山市	H27. 2. 24	H27. 3. 25	H27. 3. 25	広島県 三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町 岡山県 笠岡市、井原市 (計5市2町)	備後圏域 圏域人口：857,212人 (うち福山市：464,811人)
2	倉敷市	H27. 2. 17	H27. 3. 27	H27. 3. 27	岡山県 新見市、高梁市、総社市、井原市、浅口市、笠岡市、早島町、 里庄町、矢掛町 (計6市3町)	高梁川流域連携中枢都市圏 圏域人口：770,183人 (うち倉敷市：477,118人)
3	姫路市	H27. 2. 13	H27. 4. 5	H27. 4. 5	兵庫県 相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、宍粟市、加西市、 たつの市、稲美町、播磨町、福崎町、市川町、神河町、太子町、 上郡町、佐用町 (計7市8町)	播磨圏域連携中枢都市圏 圏域人口：1,307,003人 (うち姫路市：535,664人)
4	宮崎市	H26.12. 1	H27. 3. 25	H27. 5. 12	宮崎県 国富町、綾町 (計2町)	みやぎき共創都市圏 圏域人口：428,089人 (うち宮崎市：401,138人)
5	久留米市	H27.11. 2	H28. 2. 23	H28. 2. 23	福岡県 大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町 (計3市2町)	久留米広域連携中枢都市圏 圏域人口：456,196人 (うち久留米市：304,552人) 定住自立圏からの移行
6	盛岡市	H27.10.30	H28. 1. 15	H28. 3. 25	岩手県 八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町 (計2市5町)	みちのく盛岡広域連携都市圏 圏域人口：476,758人 (うち盛岡市：297,631人)
7	金沢市	H27.12. 4	H28. 3. 28	H28. 3. 28	石川県 白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町 (計3市2町)	石川中央都市圏 圏域人口：728,259人 (うち金沢市：465,699人)
8	大分市	H27.12.22	H28. 3. 29	H28. 3. 29	大分県 別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、 日出町 (計6市1町)	大分都市広域圏 圏域人口：778,237人 (うち大分市：478,146人)
9	長野市	H28. 2. 17	H28. 3. 29	H28. 3. 29	長野県 須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、 飯綱町 (計2市4町2村)	長野地域連携中枢都市圏 圏域人口：543,424人 (うち長野市：377,598人)
10	下関市	H27. 9. 30	H27.12.18 (形成方針)	H28. 3. 29	合併 1 市圏域	下関市連携中枢都市圏 圏域人口：268,517人 定住自立圏からの移行

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
11	高松市	H27. 9. 4	H28. 2. 16	H28. 3. 30	香川県 さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町 (計2市5町)	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏 圏域人口：585,348人 (うち高松市：420,748人) 定住自立圏からの移行
12	熊本市	H27. 6. 18	H28. 3. 30	H28. 3. 31	熊本県 菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町 (計5市10町2村)	熊本連携中枢都市圏 圏域人口：1,171,591人 (うち熊本市：740,822人)
13	広島市	H28. 2. 15	H28. 3. 30	H28. 3. 31	広島県 呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町 山口県 岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町 (計10市13町)	広島広域都市圏 圏域人口：2,324,756人 (うち広島市：1,194,034人)
14	北九州市	H27.12.24	H28. 4. 18	H28. 4. 18	福岡県 直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町、吉富町 (計5市12町)	北九州都市圏域 圏域人口：1,394,457人 (うち北九州市：961,286人)
15	静岡市	H28. 3. 1	H28. 3. 31	H28. 4. 28	静岡県 島田市、焼津市、牧之原市、藤枝市、吉田町、川根本町 (計4市2町)	しずおか中部連携中枢都市圏 圏域人口：1,168,000人 (うち静岡市：704,989人)
16	松山市	H28. 7. 8	H28. 7. 8	H28. 7. 8	愛媛県 伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町 (計2市3町)	松山圏域 圏域人口：646,055人 (うち松山市：514,865人)
17	高岡市 射水市 ※1	H28. 8. 26	H28.10. 3	H28.10. 3	富山県 氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市 (計4市)	とやま呉西圏域 圏域人口：443,151人 (うち高岡市：172,125人 うち射水市：92,308人)
18	八戸市	H29. 1. 4	H29. 3. 22	H29. 3. 22	青森県 三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町 (計6町1村)	八戸圏域連携中枢都市圏 圏域人口：323,447人 (うち八戸市：231,257人) 愛称：八戸都市圏スクラム ^{エイト} 8
19	新潟市	H28.12.16	H29. 3. 28	H29. 3. 28	新潟県 三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町 (計7市3町1村)	新潟広域都市圏 圏域人口：1,286,730人 (うち新潟市：810,157人)

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
20	岡山市	H28. 8. 9	H28.10.11	H29. 3. 28	岡山県 津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町 (計7市5町)	岡山連携中枢都市圏 圏域人口：1,170,158人 (うち岡山市：719,474人)
21	山口市 宇部市 ※1	H28.11.28	H29. 3. 30	H29. 3. 30	山口県 萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市 島根県 津和野町 (計4市1町)	山口県央連携都市圏域 圏域人口：628,836人 (うち山口市：197,422人 うち宇部市：169,429人)
22	長崎市	H28. 6. 10	H28.12.27	H29. 3. 30	長崎県 長与町、時津町 (計2町)	長崎広域連携中枢都市圏 圏域人口：501,860人 (うち長崎市：429,508人)
23	鹿児島市	H28.10.31	H29. 1. 19	H29. 3. 31	鹿児島県 日置市、いちき串木野市、姶良市 (計3市)	かごしま連携中枢都市圏 圏域人口：753,518人 (うち鹿児島市：599,814人)
24	富山市	H29. 9. 5	H30. 1. 10	H30. 1. 10	富山県 滑川市、舟橋村、上市町、立山町 (計1市2町1村)	富山広域連携中枢都市圏 圏域人口：501,670人 (うち富山市：418,686人)
25	呉市 ※2	H29. 9. 4	H29.10.16	H30. 3. 8	広島県 竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町 (計3市4町)	広島中央地域連携中枢都市圏 圏域人口：545,385人 (うち呉市：228,552人)
26	高知市 ※3	H29. 9. 7	H30. 3. 28	H30. 3. 28	高知県 安芸市、土佐市、香南市、香美市、南国市、須崎市、安田町、本山町、大豊町、土佐町、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、中土佐町、津野町、馬路村、芸西村、大川村、日高村 (交付税措置の対象外) 室戸市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、東洋町、奈半利町、田野町、梶原町、四万十町、大月町、黒潮町、三原村、北川村 (計10市17町6村)	れんけいこうち広域都市圏 圏域人口：596,998人 (うち高知市：337,190人)
27	岐阜市	H29. 6. 30	H29.11. 2	H30. 3. 29	岐阜県 山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町 (計3市3町)	岐阜連携都市圏 圏域人口：587,739人 (うち岐阜市：406,735人)
28	鳥取市	H29.12. 5	H30. 4. 1	H30. 4. 1	鳥取県 岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 兵庫県 香美町、新温泉町 (計6町)	因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 圏域人口：265,499人 (うち鳥取市：193,717人)

No.	連携中枢都市名	連携中枢都市宣言	連携協約(締結日)	都市圏ビジョン(公表日)	連携市町村	圏域の概要等
29	郡山市	H30. 9. 4	H31. 1. 23	H31. 3. 19	福島県 須賀川市、二本松市、田村市、本宮市、鏡石町、猪苗代町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、大玉村、天栄村、玉川村、平田村 (計4市7町4村)	こおりやま広域連携中枢都市圏 圏域人口：652,178人 (うち郡山市：335,444人)
30	佐世保市	H30. 9. 3	H31. 1. 12	H31. 3. 26	長崎県 平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、佐々町 佐賀県 伊万里市、有田町 (計4市7町)	西九州させぼ広域都市圏 圏域人口：487,905人 (うち佐世保市：255,439人)
31	札幌市	H30.11.28	H31. 3. 29	H31. 3. 29	北海道 小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、南幌町、長沼町、新篠津村 (計7市3町1村)	さっぽろ連携中枢都市圏 圏域人口：2,600,875人 (うち札幌市：1,952,356人)
32	福井市	H30.11.27	H31. 4. 1	H31. 4. 1	福井県 大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町 (計6市4町)	ふくい嶺北連携中枢都市圏 圏域人口：646,813人 (うち福井市：265,904人)
33	山形市	R1. 6. 27	R2. 1. 9	R2. 2. 20	山形県 寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町 (計5市6町)	山形連携中枢都市圏 圏域人口：551,524人 (うち山形市：253,832人)
34	青森市	R1.11.18	R1.12.25	R2. 3. 23	青森県 平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村 (計3町1村)	青森圏域連携中枢都市圏 圏域人口：310,640人 (うち青森市：287,648人)

※1 No.17 高岡市・射水市、No21 山口市・宇部市

隣接する2つの市が一定の要件を満たす場合(それぞれ人口10万人程度以上、昼夜間人口比率がそれぞれ1以上など)、当該2つの市を合わせて1つの連携中枢都市とみなすことができる特例を活用した市。

※2 No.25 呉市

呉市を連携中枢都市とする広島中央地域連携中枢都市圏は、広島市を連携中枢都市とする広島広域都市圏の中に含まれており、呉市は広島広域都市圏の連携市でもある。呉市の連携中枢都市圏の交付税措置は、連携中枢都市として措置額のみ適用。

※3 No.26 高知市

れんけいこうち広域都市圏は、高知県内の全市町村で構成。但し、うち13市町村は総務省から高知市と同一の生活圏とみなされず、連携中枢都市圏構想推進要綱の対象外(連携中枢都市圏の交付税措置の対象外)。13市町村については、高知県が創設した国支援と同額の交付金を活用。

(参考 1) 連携中枢都市圏形成を検討中の都市 ※各市 HP 及び議会会議録より確認

○旭川市

- ・平成 12 年 4 月に中核市へ移行。
- ・平成 22 年度、上川中部 1 市 8 町で定住自立圏構想に基づく連携を開始。
- ・連携中枢都市圏への移行に向け、現在 1 市 8 町との間で事務的な協議を進めているほか、市町長が集まる会議において意見交換を実施。

○福島市

- ・平成 30 年 4 月に中核市へ移行。
- ・平成 30 年 11 月、福島圏域 11 市町村で「福島圏域連携推進協議会」を設立し、圏域の活性化策の協議を開始。
- ・令和 2 年 1 月に開催した「福島圏域広域連携セミナー」において、連携中枢都市圏形成の議論を深めていくことを市町村長間で確認。

○甲府市

- ・平成 31 年 4 月に中核市へ移行。
- ・令和 2 年 7 月、住民生活等で関係性の高い近隣自治体の実務者で構成する「県央自治体実務者会議」を設立。
- ・当会議において、連携中枢都市圏構想を視野に入れた圏域行政の枠組みや、各自治体が有する特色や地域資源についての理解を深めるとともに、福祉、医療、社会インフラ等における機能補完や、互いの強みを活かした様々な分野・領域における連携の在り方について協議。
- ・令和 3 年度、最大で 9 市 1 町による連携中枢都市圏の形成に向け、連携中枢都市圏ビジョンの策定を目的とする「連携中枢都市圏の形成に向けた調査分析等業務」を発注。

○水戸市

- ・令和 2 年 4 月に中核市へ移行。
- ・令和 3 年 2 月、定住自立圏を形成する県央地域 9 市町村の首長で構成される「県央地域首長懇話会」において、連携中枢都市圏の形成を目指していくことで合意。
- ・令和 3 年度内の連携中枢都市圏の形成、令和 4 年度からの事業実施を目指し、現在、県央地域における将来ビジョンや連携して取り組む重点分野等について調整中。

（参考 2）他圏域における特徴的な取組

○備後圏域連携中枢都市圏 （連携中枢都市：福山市）

「チャットボットの導入」

- ・福山市において、コロナ禍における非接触型行政サービスの推進等を目的に、問合せの多い業務について、チャットボット（自動会話プログラム）による案内サービスを開始。（令和 2 年 10 月 28 日～）

【導入業務】

- ① ごみ分別ガイド
 - ② 事業者支援（各種助成制度の紹介等）
 - ③ 戸籍・住民票など各種証明書・マイナポイント手続
 - ④ 水道や下水道手続
 - ⑤ 建設工事等の入札参加資格変更手続
 - ⑥ 路上放置自転車（撤去自転車の返却手続等）
- ・圏域におけるデジタル行政サービスの拡充を図るため、福山市から連携市町に FAQ や仕様書等を提供し、令和 3 年 2 月には連携市町である三原市で導入され、府中市においても今後導入予定。

○ふくい嶺北連携中枢都市圏 （連携中枢都市：福井市）

「AI機能を備えた観光ポータルサイトの構築」

- ・人工知能（AI）が利用者の好みを反映した圏域内の観光ルートプランを提案するポータルサイト「福いろ」を構築。
- ・サイト上で、「三密回避プラン」を選択すると屋外施設中心のコースが紹介される機能を追加し、コロナ禍での誘客を図る。

○しずおか中部連携中枢都市圏 （連携中枢都市：静岡市）

「テレワーカー育成事業」

- ・場所や環境の制約を受けない多様な働き方の創出により、圏域の経済活性化を図ることを目的に、圏域住民を対象に、自営型テレワークの実施に必要なインターネットセキュリティ等の基礎知識の習得を支援する。

連携中枢都市圏の取組の推進について

広域連携推進特別委員会

資料 5

令和3年9月22日

総合政策部 政策推進課

連携中枢都市圏の意義とは

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化の観点から連携事業に取り組み、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成

連携中枢都市圏に何が求められているのか

① 圏域全体の経済成長のけん引

新規創業促進、地域資源を活用した地域経済の裾野拡大、戦略的な観光施策 等

② 高次の都市機能の集積・強化

高度な医療サービスの提供、高度な中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築 等

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

地域医療・福祉・教育・文化・スポーツにおける連携 等

連携中枢都市圏をいかに実現するか

- 地方自治法を改正し、地方公共団体間の柔軟な連携を可能とする「連携協約」の制度を導入（平成26年11月1日施行）

○ 連携中枢都市圏形成のための手続き

連携中枢
都市宣言

連携協約
の締結

都市圏ビジョン
の策定

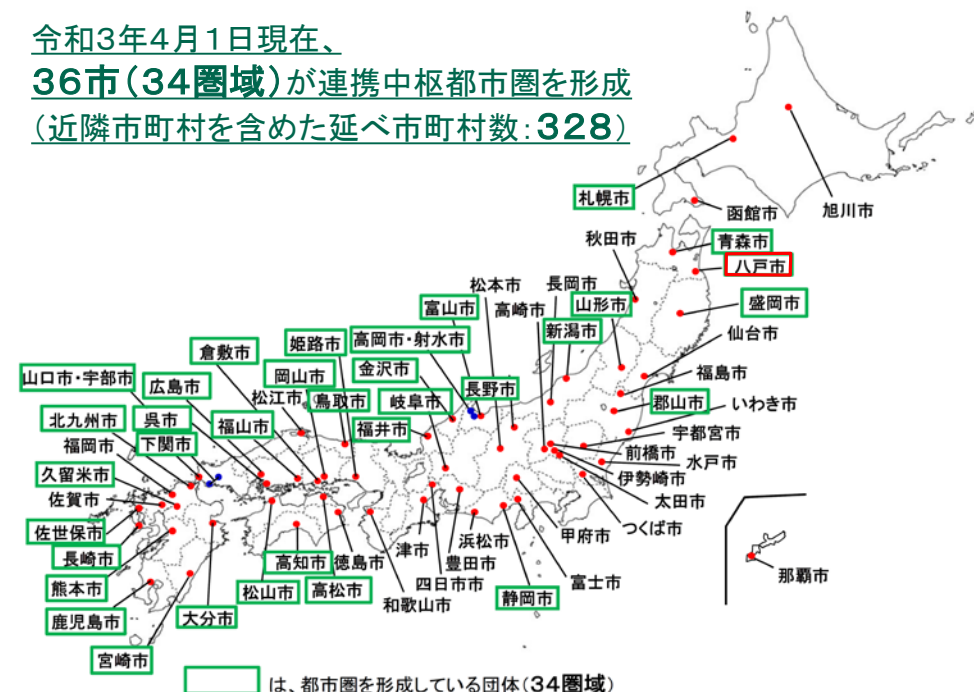
○ 連携中枢都市圏ビジョンについて（連携中枢都市圏構想推進要綱）

- ・ 連携中枢都市宣言を行った連携中枢都市が、「連携中枢都市圏ビジョン懇談会」での検討や連携市町村との協議を経て、圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づき推進する5年間の具体的取組等を定めたもの
- ・ ビジョンの変更は、連携市町村で十分に協議を重ねて行う

令和3年4月1日現在、

36市（34圏域）が連携中枢都市圏を形成

（近隣市町村を含めた延べ市町村数：328）



は、都市圏を形成している団体（34圏域）

● は、連携中枢都市の要件を満たす市（59市）※中核市に移行していない市も含む

【連携中枢都市の要件】

①指定都市又は中核市であること ②昼夜間人口比率がおおむね1以上であること

（参考）国の支援

- 平成26年度～ 連携中枢都市圏の形成等を推進するため、国費により支援
- 平成27年度～ 地方交付税措置を講じて全国展開

※ 総務省資料を加工して作成